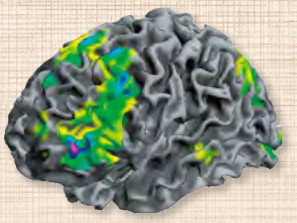
『京都大学所蔵近代教育掛図目録』: 外国語教育用掛図「町」(京都大学吉田南総合図書館 所蔵)

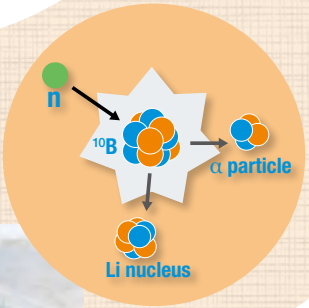
総合人間学部

Faculty of Integrated Human Studies

■ 総合人間学科

人間そのものと人間をとりまく世界を
文理をこえて総体的にとらえ、
常識にとらわれない柔軟な思考で
新領域を切り拓く





総合人間学部が望む学生像

総合人間学部は、たえまなく変化する現代社会における人間と文明と自然の新たな結びつきを見出すために、人文科学、社会科学、自然科学を横断する「人間の学」の創出をめざしています。本学部が求めるのは、この基本理念に共鳴し、次の4点の素養をもつ人です。

❶「人間の学」の創出という挑戦に積極的に加わろうとする志をもつ人。
❷ 人類が直面する様々な課題に向きあう進取の精神をもつ人。
❸ 持続的で創造的な取り組みを支える教養を身につけたいと考える人。
❹ 修得した知識・技術を活用する主体的な思考力・判断力・表現力を備え、他者と協働しながら学ぼうとする姿勢をもつ人。

総合人間学部の特徴

1 総合人間学部が育成する人材

総合人間学部は、新たな「人間の学」の創出を主軸とする学部ですが、この学問的追究を通して、高い倫理性と幅広い視野から創造的かつ持続的に現代の諸問題と向き合い、多様な人々と協働しながらリーダーシップを発揮する人材を育成することを目的としています。多様な学問分野を網羅する教員陣のもとで、教養教育・基礎教育と専門教育を体系的に一体化したカリキュラムを提供します。

2 文理を超越する多様な専攻の選択が可能

受験生の皆さんは大学の授業に触れたことがないため、入学後専門とする学問について必ずしも深い理解をもっているとは限らないでしょう。そのため、受験学部の選択は受験生にとって大きな悩みの種かもしれません。しかしながら総合人間学部では、入学後選べる専門の幅は文理をまたいで本学他学部にはない広さに及んでいます。入試の際の〈文系・理系〉の別にもとらわれないで選択が可能です。入学後、広く各分野の授業を履修し、実際に学問に触れてから、じっくり専門を選べるのが、総合人間学部の大きな特徴です。

3 ユニークな取り組み「他者に語る」

「学術越境」は専門分野を異にする他者との真剣なコミュニケーションを前提とします。総合人間学部は他者に専門をわかりやすく伝える力の育成を図る「他者に語る」というユニークな取り組みを行っています。卒業論文執筆後に、論文で扱ったテーマを他分野教員や他学生に分かりやすく説明するという試みです。分かりやすく説明する努力は自らの理解を相対化し、深めてゆくきっかけになります。この試みは学生にとって卒業間際の意義深い経験になります。

4 幅広い視野と創造性を育む副専攻制度

総合人間学部では専門分野ではない特定の他分野を副専攻として選んで系統的に履修する、副専攻制度を設けています。その目的は幅広い視野と豊かな創造性をもつ人材の育成にあり、主専攻で培う高度な専門性に並んで、他分野の深い知識と素養を身につけることで、複眼的な視点と学術越境の精神を育むことを目指しています。

5 大学院 人間・環境学研究科への接続

総合人間学部の学びは、総合人間学部の大学院である、大学院 人間・環境学研究科に直結しており、例年3〜4割程度の学生が進学します（本学の他研究科や他大学の大学院への進学も可能です）。人間・環境学研究科には総合人間学部の10講座にそれぞれ対応する10の講座が設けられており、学部時代と同一の教員の指導のもとでシームレスに専門を継続的に学修し、深化させることが可能です。

写真左から、脳機能計測実験の様子、4次元ドームの制作、
新入生歓迎合宿、演習授業「西欧近現代表象文化論演習」の様子

ココに注目！

既存学問の枠を超えた総合的な学問の場

総合人間学部は、科学技術の急速な発展や国際化の進展などによって急速に変化する社会に対応するために、人間とそれをとりまく世界を、今までの学問の体系にとらわれない学際的な観点から総合的にとらえようとする、「人間の学」構築を目標とする学部です。学際的な視点をもち、各界で創造的に活躍できる人物を育成します。

他者とのコミュニケーション能力の養成

「学術越境」は専門を異にする他者との真剣なコミュニケーションを前提とします。既存の学問分野にとらわれない学際的で広い視点をもつ「学際知」の育成とともに、専門を他者にわかりやすく伝える「教養知」の育成が目指されています。他者に伝える試みは専門に新たな着想をもたらす貴重なきっかけにもなります。

学術越境の理念

文理にまたがり京都大学でもっとも広範な学問分野をカバーする総合人間学部は、あたかも一つの総合大学のようです。その特性を活かし、「学術越境」という理念を軸に、学部を再編しました。「学術越境」とは、教員、学生が自らの専門分野を極めつつ、学術的並びに社会的な問題解決のために積極的に他分野の知見を取り入れてゆくことです。総合人間学部で学ぶ学生は、専門分野の深く系統的な修得は当然のこと、専門だけに閉じこもらない柔軟で社会に開かれた学際的精神を身につけます。

前進し続ける総合人間学部

総合人間学部は2024年度より「学術越境」の理念のもと、10の講座からなる新たな形に生まれ変わりました。1993年度に第一期生を迎え入れた京都大学でもっとも新しい学部である総合人間学部は、つねに変革し前進し続けます。

総合人間学部の10の講座

「講座」とは学問分野の近い教員の集団で、学生もこれに所属して、自分の属す講座開講の科目を中心に体系的に専門の学修を深めてゆきます。

数理・情報科学講座

数理科学において、主に解析学的な手法を用いて、さまざまな現象の変動過程の数理構造の解明をめざすとともに、情報科学において、理論と応用の両面から探求を行います。数理科学においては、常微分方程式、偏微分方程式、確率微分方程式、確率過程、離散力学系、複素力学系、カオス・フラクタル理論などを用いて記述されるさまざまな数理的現象を解析します。情報科学においては、機械学習、データサイエンス、メディア情報処理についての理論と応用、またパズル・ゲームの数理、量子計算などの諸問題について探究します。さらに、プログラミング言語理論、数理論理学、証明支援系、圏論、記述集合論などを通じて、計算の本質、特に数学の中に現れる計算概念に関して追究します。

芸術文化講座

本講座は、イギリス・アメリカを起点として世界に広がる英語圏文学、ドイツ語圏、フランス語圏、イタリア語圏など、多言語文化を基盤とするヨーロッパの文学、さらにはヘブライ文学を視野に入れ、芸術の本質と未来の可能性を探求します。小説、詩、演劇などの文学作品から映画、舞台芸術、音楽、美術まで、様々なジャンルの創造行為を対象とします。文化的・社会的・思想的背景に留意しつつ、個々の作品をダイナミックで立体的なものとして浮かび上がらせるため、文芸批評、演劇理論、映画理論、芸術哲学を学びます。ローカル・グローバルの両側面に光を当てることによって個々の作品の特殊性と普遍性を解明し、異なる文化の共生を模索します。

言語科学講座

言語は人間の最大の特質であり、さまざまな知的な営みに欠かすことのできないものです。本講座は、理論言語学、記述言語学、応用言語学（教育・習得）の各領域を中心として、多角的に言語の本質を理解するための研究を展開しています。理論言語学の領域では、生成文法、認知言語学といった理論を用いて、言語の文法や意味、人間の認知能力を明らかにしようとしています。記述言語学の領域では、さまざまな言語の歴史的・地理的な変異や変種を調査・比較し、言語の普遍性と多様性を探求しています。応用言語学の領域では、外国語習得のメカニズムやプロセス、外国語教育の課題や制度などを、認知的・心理的・社会的観点から研究しています。

共生世界講座

持続可能な共生世界・共生社会の実現の可能性とその難しさとに向き合いながら、共生の上に成り立つ新たなコミュニティの構築に向けた社会制度・社会関係のあり方を、多元的に考究します。そのために、本講座では、国際関係・外交関係、世界の諸地域の歴史・社会（アメリカ・ヨーロッパ・インド・中東・アフリカ等）、経済・資本制システム、環境・資源、移民、労働関係、公共政策・民主主義、メディア、憲法・司法システム等、幅広い事象に着目します。政治論・政策論・外交論・経済論・環境論・法律論・社会論・歴史論・思想論等を、領域横断的に相関させることにより、上記目的に寄与する総合知を創出します。また、それを実践し、活用できる人材を育成します。

物質科学講座

当講座では、物質の基本構成要素である電子・原子をはじめ、H_2やCO_2などの小分子から、より複雑な有機・生体分子や3次元固体物質まで、サイズや次元が異なる多様な物質系について、次のような研究を進めています。1）新しい有機分子、ナノ材料、固体触媒、電池材料、分子性結晶、光機能性材料の創成と機能の探求、2）質量分析、核磁気共鳴、光電子分光、X線吸収分光、発光分光、トンネル顕微鏡などの各種分析・測定手法の開発、3）高温超伝導、強相関電子系、冷却原子系、低次元物質などの新奇物性現象の発見と発現機構の解明、4）光触媒・光熱変換触媒、燃料電池、光機能性材料などのエネルギー変換機構の解明

人間・社会・思想講座

人間は世界や他者、そして自己自身と関わりつつ社会を構成して生きる存在ですが、言語も思想も人間の産み出したものとして事後的に付加されるだけのものではありません。それらはむしろ人間自身と社会との関わりを根本から規定し、性格づけるものです。当講座は、言語と思想を持ち社会的な存在でもある人間、および人間と社会との相互交渉について、根源まで遡って原理的な究明を行います。また、原理的究明を踏まえて個別の社会のあり方や社会内の人間の具体的行動や発達の詳細、さらには病理的なあり方まで視野に収めて実証的研究を展開するとともに、その研究の実践への応用を試みます。

認知・行動・健康科学講座

認知・行動・健康科学講座では、神経科学、認知科学、心理学、生理学、運動科学、健康科学、運動医科学、精神医学などのさまざまな学問を基盤として、精神と身体が担う諸機能のメカニズム、発達過程、形成方法に関する基礎的研究と、健康づくりとスポーツ活動に関する実践的研究を行います。さらに、加速する情報化社会、生命・文化の多様化、人と機械の共生のあり方など、社会の変化にともなう人類の諸課題についての総合的な研究および実践活動を展開していきます。これらの成果をもとに、人類が生命活動・健康・発達をより良く実現していくための方策と手段を探求します。

東アジア文明講座

東アジアの諸地域は、各地域が独自の文化を発展させるとともに、地域間の活発な交流によって、全体として大きなまとまりをもつ政治圏・経済圏・文化圏を作り上げてきました。この講座では、日本語学・日本文学、中国語学・中国文学、日本史・中国史、中国思想・朝鮮思想といった専門研究領域を基礎としながら、これらの学問領域を融合させて、東アジア諸地域で育まれた言語・文学・歴史・思想を縦横に研究し、西欧文明とは異なる東アジアの歴史・文化・社会を総合的に解明することを目指します。

文化・地域環境講座

長い歴史のなかで育まれてきた固有の民族・文化・地域・空間・景観の特性や居住の諸相を「文化・地域環境」として捉え、その生成、展開、保全の諸過程や現状を解明する講座です。文化人類学、建築学・都市計画学、人文地理学といったフィールド研究にもとづく学問分野を横断し、文化・地域環境に関する基礎研究と実践研究を統合した研究教育を行っています。都市開発やまちづくり、地域活性化、文化遺産・景観の保全と活用、異文化・地域間交流、地域課題の解決に資する実務者・指導者・研究者を育成します。

地球・生命環境講座

自然と人間とがよりよく共存できる関係の構築のために、宇宙や地球の過去・現在・未来、地球の内部や表層と生物達との関係や、生物の機能解明を目指した研究を行います。地球物理学、地質学、古生物学、地球化学、惑星科学などの知識と手法を使って、惑星や衛星のできる過程、地球の内部や表層の動き、物質や環境の変化を調べます。また、生物同士の関係を調べることによって、多様な生物が共存する仕組みや生態系の安定性を探究します。さらに、生物が環境に適応したりエネルギーを取り入れたり変換する方法や、生物を含む自然の資源を健全に利用するための方法を追究します。

＼開いてみよう／
学問の扉

地理は社会と歴史の「骨格」。過去と現代を重ね、都市景観を読み解く

総合人間学部／
大学院人間・環境学研究科
山村 亜希 教授
広島大学附属福山高等学校 出身

わたしたち人間は時間と空間のなかで生きる存在です。その両面を軸に、都市の過去の景観や環境について考える歴史地理学が私の専門分野です。主に扱うのは、戦国時代から江戸時代初期にかけての城下町や港町。かつての都市空間を地図上に復原しながら、歴史の一ページとして確かに存在したその時空間のなかで、人々がどのように生きていたのかを考察しています。日本の都市は土地の全てが公共のものではないので、よほどの再開発が起こらない限り、土地のかたちに極端な変化が生じにくいのが特徴。地理はいわば都市空間の「骨格」のようなもの。よくも悪くも、その土地に生まれる社会に大きく影響するのです。

過去に遡るうえでは、実際にその土地を歩くことも欠かせません。調査地域のもっとも古い地図を現在の地図のうえに重ね合わせた地図を作成し、街並みを見ながら歩き回ります。地図づくりは学生の方に任せることもありますが、できれば全てを私が手がけたいほど楽しい作業です。古くからある寺社の位置、文献、発掘調査の成果、土地の高低差、古い川筋などをパズルのようにつなぎあわせ、かつての都市の姿や現代にまでつながる地理的な構造に迫ります。一見歴史を感じさせない新しい都市に、古くからある「骨格」を発見したときはとくに心が躍ります。

文系でも理系でも受験できる総合人間学部には、十人十色の考えの学生たちが学んでいます。じつは私の研究室も、三分の一は理系出身者。文系にも理系にも興味があって、将来に迷っている人にもおすすめできる環境です。学部の4年間で幅広い学問に触れて、大学院修士課程の2年間で「これだ！」と思ったものに没頭する、そんな6年計画も学生のみなさんに勧めています。

京大の学びの醍醐味のひとつは授業の豊富さ。とくに全学共通科目は、多種多様な学問の最良の入口となる授業が揃っています。積極的に発言し、質問することで、教員と学生の距離がどんどん近くなり、ぐっと学びの質があがります。京大のリソースを最大限に活用して、充実した学生生活を送ってください。

先輩が教える **京都大学の魅力**

卒業生
追手門学院大学 講師
2019年3月 総合人間学部
人間科学系 卒業
園部 燿 さん
神奈川県
聖光学院高等学校 出身

「教養」と「迷い」の大事さ

京都という街、そして総合大学のなかの総合大学ともいえる総合人間学部のかたちにひかれて、私はこの学部に入りました。特色の1つでもある専門分野の多さは、今となれば「教養」という私の地下水となりましたが、当時は、何をやればいいのか、と迷った覚えもあります。しかし、「迷う」つまりは「定まらない」というのは、思えば、京大のテーゼ「自由」の本質の1つのようにも感じます。誰かがひいた路ではなく、自らの道を創りあげていく感覚をぜひ、この学部で感じてみてください。

大学院の紹介

大学院人間・環境学研究科

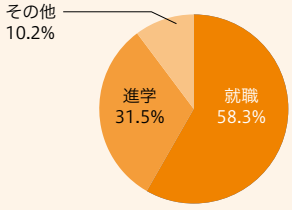
人間・環境学研究科で学んでみませんか？

総合人間学部と人間・環境学研究科は、名称こそ異なりますが基本的に同じ組織で、同じ先生方が教育・研究を担当されています。総合人間学部から進学するひとも毎年3～4割程度います。人間・環境学研究科は総合人間学部の10講座に対応する10講座からなり、総合人間学部からの進学者には学修が円滑に継続できる利点があります。人間・環境学研究科では、総合人間学部と同様の文理にまたがる広範な学問分野の連携を通じて、人間と環境についての理解を深めるとともに、そのよりよい関係を構築するための新たな文明観、自然観の創出に役立つ学術研究の推進を目指しています。研究科修了後は、研究者になるひとも多い一方、行政や民間企業に就職する修了生も少なくありません。研究者になった修了生のなかには、学際的で独自性の高い研究をするひとが多いように見うけられます。

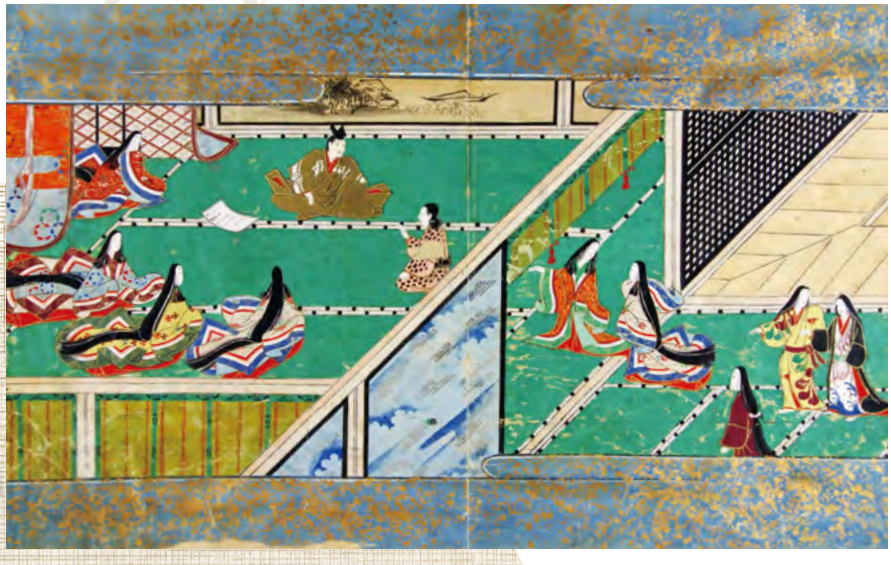
卒業後の進路

■**進学**　約3割が人間・環境学研究科等の大学院へ進学します。
■**就職**　就職先は情報通信業や金融業、ＩＴ関係、化学・電気・機械等のメーカー、広告会社等のサービス業、官公庁等、総合人間学部の特色を示すように多岐にわたっており、卒業生は社会の広い分野で活躍しています。
■**就職先の例**　日本郵船㈱／楽天グループ㈱／㈱電通／住友重機械工業㈱／国土交通省／三井住友信託銀行㈱／㈱NTTドコモ／㈱帝国データバンク／㈱大林組／野村證券㈱／PwCコンサルティング（同）
■**取得可能な資格**　総合人間学部は下記の種類・教科に関する課程認定を受けており、教育職員免許法の定めによる所定の単位を修得し、所定の手続きを行えば免許状が取得できます。また、博物館等の学芸員や図書館司書の資格も他学部の科目を修得することで取得することができます。
■**取得可能な教育職員免許の種類と教科**
中学校一種……国語／社会／数学／理科／英語
高等学校一種……国語／地理歴史／公民／数学／理科／情報／英語

2024年度 卒業生の状況



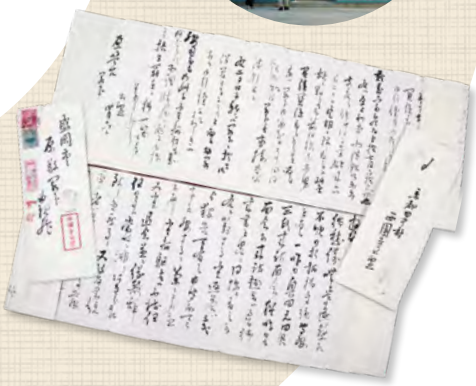
江戸時代前期に制作された奈良絵本『たなはた』（美学美術史学専修所蔵）



文学部
Faculty of Letters

京都学派を育んだ新進の精神が息づく 刺激的な知的交流の場に 新風を吹き込む若き好奇心を求めて

■ 人文学科



①挿し絵入り掻籤期印刷本（ファクシミリ版ペトラルカ詩集）（イタリア語学イタリア文学専修所蔵）　②吉田二本松８号墳出土埴輪（文化遺産学・人文知連携センター 京大文化遺産調査活用部門所蔵）　③古地図「東西蝦夷山川地理取調図」（地理学専修所蔵）　④サマルカンド（ウズベキスタン）の墓廟群、シャーヒズィンダ（西南アジア史学専修）　⑤原敬文書に収められている、西園寺公望から原敬への書簡（現代史学専修所蔵）

文学部が望む学生像

京都大学の文学部は、哲学・思想・歴史学・文学・文化・行動科学等に関わる諸問題を学び考え、自由の学風を重んじる本学の基本理念をふまえながら、新たな知的価値の創出をめざす学生を求めています。入学者の選抜においては、次の3点が問われます。

❶ 総合的な基礎学力をもっていること。
❷ 過去から現在に至り、さらに未来にまで伸びる人類の営みについて、深い関心をもっていること。
❸ 高度な文章読解力、および論理的かつ柔軟で、創造性豊かな思考力とそれを表現する力をもっていること。

文学部の特徴

1 国際化に対応した新しい研究者の育成

京都大学の文学部が掲げる最大の目標は研究者の養成です。ただし研究対象が日本あるいは諸外国・地域の文学・文化に関わらず、国内の評価だけで研究者として認められる時代は過ぎ去りました。世界の研究者と対等に渡り合い、自身の研究価値を世界に認めさせながら国際的研究水準のレベルアップに寄与し、世界各国・地域の研究者がナショナリズムをこえた相互理解の共通基盤に立てるよう、努めなければいけません。これらをふまえ、国際化に対応した新時代の研究者を育成しています。

2 専門性の高度化につながる明確な目標設定

京都大学の文学部では、思想、言語、文学、歴史、行動、現代文化、それぞれの学術体系を習得することにより、人間の諸活動を原理的に解明することをめざします。あわせて絶えず変化する環境下、これらの学問がもつ価値を問い直す研究者としての専門性の高度化をめざし、次の学習目標を設定しています。

- 哲学・歴史学・文学・行動科学に関する基礎的学識と専門分野についての深い理解力を養い、卒業論文の作成を通じ、問題の探究・分析能力や表現力を身につける。
- 哲学・歴史学・文学・行動科学に関する諸課題に向きあうことで問題の発見・解決能力を養い、創造的に取り組む姿勢を身につける。
- 人文学の意義と重要性を理解し、高い倫理性をもって、その展開に寄与する行動が可能な能力を身につける。
- 自由で批判的な精神と良識を養い、人類が直面する課題を直視し、問題解決に積極的に寄与することができる能力を身につける。

3 教養教育の土台に 専修の学びを積み重ねる4年間

1年次　まずは1年間、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に履修します。年次進行にあわせ、学習分野は専門化していくため、この間に幅広い学問分野にふれておくことは、長期的にプラスです。あわせて2年次での学系選択、3年次での専修選択を意識し、それぞれに必要な外国語を学んでおくことが望まれます。

2年次　次年度での専修選択に向けて、哲学基礎文化学、東洋文化学、西洋文化学、歴史基礎文化学、行動・環境文化学、基礎現代文化学、6学系のいずれかに仮分属します。あわせて各専修が開講する研究入門的な講義や基礎演習などを履修、2年次の秋に行う専修選択に備えます。

3年次　本格的な専門教育が始まります。分属する各専修では講義の他、演習や特殊講義といった専門的な授業を履修します。そのなかには大学院生とともに学ぶ授業もあります。当初は大学院生の知に圧倒されることもありますが、彼等の学問を追究する真摯な姿勢から、研究者への道が見えてくるようです。また、文学部では諸外国語をふくむ文献講読を主とする授業が多い傾向にありますが、実験やフィールドワークを行う専修もあります。

4年次　卒業論文の作成が学びの中心となります。自らテーマを定め、自ら資料を集めて分析し、自ら論文にまとめる過程は容易ではなく、辛苦を伴うこともあるでしょう。ただし辛苦を乗り越えた経験は、実社会においてきわめて有益であり、大学院に進学する学生にとっては、卒業論文の作成が研究者の道を行く第一歩となります。

ココに注目！

6学系31専修で文化全般をカバー

現在、文学部には哲学基礎文化学、東洋文化学、西洋文化学、歴史基礎文化学、行動・環境文化学、基礎現代文化学、6つの学系があります。あわせて6学系に計31専修が設置されており、人類の思想や言語文化、歴史、行動、文化全般に関する諸学問を広くカバーしています。

各研究室が学問的ネットワークを形成

6学系31専修にある研究室の多くは、他大学などで研究職に就く卒業生も加えた研究会を運営しており、そうした独自ネットワークの広がりが、100年をこえる文学部の学問的伝統を支えています。

キーワードは「人間とその文化的営み」

文学部の多種多様な研究を束ねるキーワードは「人間とその文化的営み」です。その研究領域は人類文化の起源から現代に至っており、地理的にも日本から地球の全域におよびます。また、多様に広がる専門研究を担う専修は、それぞれ独立した研究室を形成しており、学生は教員や大学院生と授業等の場を共有することで、多くの学びと知見を得ていきます。

「京都学派」とよばれる自由な学風

京都大学の文学部は「京都学派」とよばれる独自の自由な学風を育むことで各界に多数の有為な人材を輩出し、国内に数ある文学部のなかでも特筆すべき位置づけを示しています。こうした歴史と伝統に培われた学習環境が、ほかに例がないのはもちろん、この知的交流の場に新入生が新風を吹き込んでくれることを求めるなど、新進の精神が絶えないのも京都大学の文学部ならではです。

6学系の紹介

哲学基礎文化学系

新時代の思想の担い手を育成

「哲学基礎文化学系」は多様な文化圏・言語圏に蓄積された哲学・思想を学び、新しい時代の思想の担い手を育成する〈場〉です。それは社会や他の学問領域では自明とされていることの原点に立ち戻り、問い直す〈場〉でもあります。たとえば「殺人は悪」とする常識の根拠は何なのか、善悪の区別に意味はあるのか、科学や歴史学が標榜する〈実証性〉とは何なのか、人間にとって宗教とは何なのか、美や芸術とは何なのか、これらの問いは人間の知的営み全般に向きあうことでもあります。哲学基礎文化学系は、そんな知的野心あふれる〈場〉にほかなりません。

アウグスティヌス『告白』の冒頭部分
1491年に刊行された最初期の印刷本

東洋文化学系

時代をこえた文化研究を行う

「東洋文化学系」では日本、中国、インド、チベットなど、東アジア諸地域の文学・思想・宗教・言語などを主に、時代をこえた研究を行います。専門分野によっては科学や芸術、サブカルチャーにまで踏み込むこともあります。その基礎は文献資料の読解にあり、原文でしかわからない意図や美の理解を求め、原典言語の学習に取り組みます。めざすのは、東洋と世界がどのように関わっているのか、歴史的伝統と現実はどのように結ばれているのか、文学や芸術はどのような世界を創るのか、これらを正確な専門知識と幅広い視野から解明していくことです。

中国語学中国文学研究室所蔵の貴重資料

西洋文化学系

文学と言語の視点に立った研究を

「西洋文化学系」ではヨーロッパやアメリカの文化と社会について、主に文学と言語の視点に立った研究を行います。取り扱う時代は幅広く、古代から中世、近代や現代に至ります。但し研究対象に関わらず、その基礎は文献資料の正確な読解にあり、まずは語学力の習得に取り組みます。そうして養う高度な語学力や読解力、文学や言語文化に関する深い考察力が研究者の道を拓くことはもちろん、幅広い視野に基づく異文化理解力やコミュニケーション能力を活かし、官公庁や教育、報道、出版、流通など、多方面で活躍する卒業生も少なくありません。

ドイツ語学ドイツ文学の研究会

歴史基礎文化学系

人類社会の発展を時間軸に沿って考察

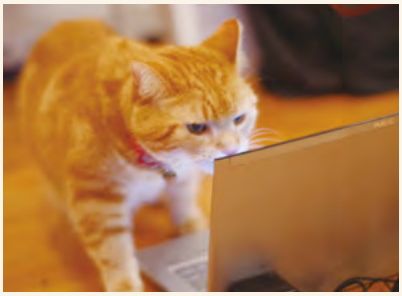
「歴史基礎文化学系」は日本史学、東洋史学、西南アジア史学、西洋史学、考古学の5つの専修で構成されています。文献史料を主な対象とする4史学と考古学の研究手法は大きく異なりますが、人類と社会の発展を時間軸から考察する点は共通しています。また、文献や史料を読み解く学力の習得を重視するとともに、演習・実習による実践的な学びを充実させているのも5専修の共通点です。さらに他学系の授業、たとえば地理学や現代史学、東西の古典語なども学ぶことにより、人類の文化的な営みを総体的に捉える視点を獲得することも可能です。

織田信長朱印状

行動・環境文化学系

人々の思考と関係性が生まれる現場へ

「行動・環境文化学系」は心理学、言語学、社会学、地理学の4つの専修で構成されています。心理学専修では実験を通じ、知覚・認知、思考、記憶、発達、社会性といった〈心の働き〉を研究します。言語学専修では、個別言語の構造・体系の分析や、言語が一般に機能する仕組みや変化する仕組みの研究を行います。社会学専修では社会構造の変化や人びとの関係などを研究し、昨今の多様なトピックスに焦点をあてる社会調査にも注力します。地理学専修では、地域の現地調査や資料・データ分析を通じて、地表での多様な自然と人間の関係を研究します。



パソコン画面に映し出された視覚刺激を見つめるネコ

基礎現代文化学系

現代の多面的な把握に取り組む

現代は、歴史上かつてなかったほど、人類が巨大な変化を経験している時代です。「基礎現代文化学系」は、さまざまな角度から、この「現代」の特質や成り立ちを考察します。科学哲学科学史専修は、現代を特徴づける科学の営みを哲学や歴史学の手法を用いて分析します。現代史学専修は、現代史は世界史であるという観点に立って、歴史学の手法により現代世界を分析します。メディア文化学専修は、おもにメディアや情報という切り口から、人文学のさまざまな手法を組み合わせながら、現代の社会や文化を考察します。

手書きのドイツ語日記から「幾何」の単語を検索している文献研究用ツール「SMART-GS」

\ 開いてみよう /
学問の扉

言葉の「心」と「体」。
近代フランス詩の型破りの魅力

文学部／
大学院文学研究科
鳥山 定嗣 准教授
愛知県立
明和高等学校 出身

「詩」というと、なんとなく親しみづらいもの。教科書に出てくる詩を読んでもあまりピンとこない、そんな印象を持っている人もいるのではないかと思います。わたしもそのひとりでした。ただ、わたしたちは勉強すればするほど、言葉の「意味」に囚われがちかもしれません。ちょっと粗っぽい比喩ですが、意味を言葉の「心」とすれば、その「心」には文字の形や音という「体」があります。たとえば「言語」と「ことば」では言葉の姿が違い、印象も変わってくるでしょう。詩の言葉においてはとりわけ「心」と「体」が切り離せないと感じます。

詩にはまた「型」があり、その型を構成するのはリズムや音といった言葉の「体」に相当する要素です。私が専門とするフランス詩にも、和歌の七五調のように、音の数を規則的に整えることによってリズムを生み出したり、漢詩のように詩句末で韻を踏んだりします。フランス語にはまた男性名詞と女性名詞という言語の性（ジェンダー）があるのですが、脚韻にも女性韻と男性韻の区別があり、古典的な規則では両者をバランスよく配置するのがよいとされます。

こうした規範は17世紀に定式化されましたが、19世紀以降、詩人たちはこの伝統的な型を破り出します。フランス革命に始まる一連の政変、産業革命、さらには第一次世界大戦に至る激動の時代に、新たな表現形式を模索したのです。興味深いのは、型を完全に捨て去ったわけではないところ。たとえば、一行の音節数という外枠は保ったまま、その内部のリズムを乱すことで、労働者革命のような反体制的な主題を表現しました。「型」があるからこそ「型破り」も成り立つわけです。古い型を壊しながら新たな型を創り出すところに詩の面白さを感じています。

大学での学問の醍醐味は、自分の関心に従って学びの道を自由に選べる点にあるでしょう。数々の選択肢を前に迷ってしまうこともあるかもしれませんが、なるべく多くの学問に触れることをおすすめします。現代は情報に容易にアクセスできる時代。知識を得るだけでなく、学問ごとに新たな「ものの見方」に出会うという発想が大切かと思います。学びも人も一期一会、京都大学でたくさんの出会いを重ねてください。

先輩が教える **京都大学の魅力**

卒業生
株式会社リンクアンドモチベーション
2024年3月 文学部
社会学専修 卒業
佐藤 珠希 さん
北海道
北海道札幌西高等学校 出身

興味が人生をひらく

文学部では、興味を起点に多様な学問に触れ、自分の視野や考え方が広がっていく実感がありました。ある民俗学の授業では祖父の生活史を記録し、生きた証を残すとともに身近な人の人生を見つめ直すきっかけに。他方、社会学について学ぶ中で、自分自身の価値観とも向き合うように。知識が誰かや自分の生に重なる感覚が、何より刺激的でした。「知りたい」を出発点に学びを探求できる喜びを、文学部でぜひ味わってください。

大学院の紹介

大学院文学研究科

「さがしてみる」、そして「見つける」

文学研究科は、文献文化学、思想文化学、歴史文化学、行動文化学、現代文化学、京都大学・ハイデルベルク大学国際連携文化越境（修士課程）の6専攻に分かれており、大学院の教育課程は2年間の修士課程と3年間の博士後期課程から構成されています。入学後には、これらの知識や能力を基礎としつつ、計画的な論文指導を受け、特殊講義および参加型の演習授業などで学ぶことを通して、専門家としての責任感と倫理性をもって、オリジナリティを有する研究を進め、国際的に活躍していく能力を身につけることが期待されています。

本研究科は、専門分野を学ぶための十分な基礎学力を具えており、人文学に関わる諸問題の解明を目指し、自由の学風を重んじる本学の基本理念を踏まえながら、新たな知的価値を創出することのできる学生を求めます。

卒業後の進路

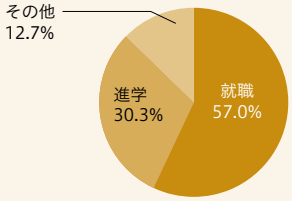
■**概要**　この数年は約3割が大学院に進学しています。就職先としては官公庁や教育機関、マスコミや出版関連が多数でしたが、最近は情報通信業や金融業および経営コンサルタントの比率も高まっています。また、特定の分野に偏らず、幅広い業種・業界で活躍する卒業生が多いのも文学部の大きな特徴です。

■**就職先の例**　国家・地方公務員／国立国会図書館／中学・高校教員／楽天グループ㈱ ／KDDI㈱／日本放送協会／㈱TBSテレビ／㈱電通／㈱バンダイ／㈱小学館／㈱講談社／㈱新潮社／日本電気㈱ ／三菱UFJ銀行／三井住友銀行／日本生命保険相互会社／東京海上日動火災保険㈱／ NTTファイナンス㈱／アクセンチュア㈱／デロイトトーマツコンサルティング（同）／マッキンゼー・アンド・カンパニー・インコーポレイテッド／三菱商事㈱／伊藤忠商事㈱／ 任天堂㈱ ／ダイキン工業㈱／ENEOS㈱／積水ハウス㈱／JFEスチール㈱／東レ㈱／大日本印刷㈱／日本郵船㈱／中部電力ミライズ㈱／中日本高速道路㈱／大阪ガス㈱／関西エアポート㈱／近鉄グループホールディングス㈱／名古屋鉄道㈱ ／㈱ニトリホールディングス／国立大学法人京都大学など

■**取得可能な資格**　文学部では所定の科目を修得した場合、教育職員免許状や博物館学芸員資格の取得が可能です。また、教育学部が開講する所定の科目を修得することで、図書館司書や学校図書館司書教諭の資格も取得できます。

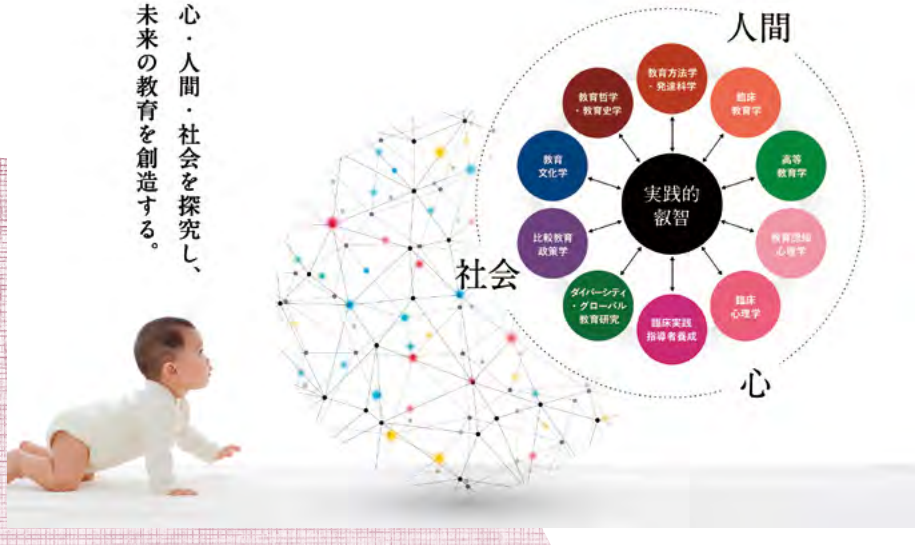
■**取得可能な教育職員免許の種類と教科**
中学校一種……国語／社会／英語
高等学校一種……国語／地理歴史／公民／英語

2024年度 卒業生の状況



Faculty of Education

心・人間・社会を探究し、
未来の教育を創造する。



教育学部

Faculty of Education

■ 教育科学科

教育は未来を創る営み。
「人間とは何か」を探究しながら
人類の未来に必要な知を創出する

教育学部が望む学生像

20世紀は教育が学校中心に機能した学校教育社会でした。しかし21世紀は学校だけでなく、社会のさまざまな場所と一人ひとりの人生のさまざまな局面において、人間形成の営みがゆるやかにネットワーク化される「人間形成社会」が出現しつつあります。これからの教育学は、この「人間形成社会」の展開過程で必要になる新たな知と技法の創出が求められます。そのため教育学部では、心と人間と社会について、深い関心と洞察力をもち、柔軟な思考と豊かな想像力に富む学生を求めています。

教育学部の特徴

1 人間らしさを擁護・促進する態度の養成

全学共通科目による教養教育と学部科目による専門教育を有機的に関連させた学びを提供することで、現代人に必要とされる広い視野と異質さへの理解、多面的・総合的な思考と批判的判断力、これらを備えた「人間らしさを擁護し促進する態度」の養成を教育方針としています。

2 教育に多様な観点から向きあう3系

教育学部は1学科（教育科学科）3系で編成しています。教育に関連する事象を、さまざまなアプローチからとらえる知と技法を習得するための基礎教育プログラムを提供します。あわせて“ゆるやかな”専門的分化を図ることで、教育が抱える複雑かつ重層的な問題を科学的に分析し、どのようなアプローチで解決にせまることができるかを探究する能力を養成します。
※各系の詳細は24ページ参照

3 ゆるやかに専門分化していく4年間

入学当初は幅広く教養を培う全学共通科目を履修し、年次進行にあわせ、教育学部の専門基礎科目や専門科目に移行していきます。その間、幅広い視野や複眼的な思考力の獲得を目指し、他学部が開講している専門科目の履修も推奨しています。

1年次　必修専門科目の「教育研究入門」、推奨科目の「情報学」などを履修します。また、教職科目はもとより、教育学部の教員は全学共通科目の諸講義や少人数教育科目群「ILASセミナー」なども担当しており、これらを履修するのも有益です。

2年次　教育学部の専門基礎科目を主に履修します。あわせて3年次の系分属を意識しながら、専門分野への興味・関心や自身の適性を見定めます。

3年次　現代教育基礎学系、教育心理学系、相関教育システム論系、いずれかの系に分属し、各専門科目を学びます。

4年次　学びの集大成となる卒業論文を作成します。大学院に進学する学生にとっては、卒業論文の作成が研究者の道を行く第一歩となります。

ココに注目！

教育という営みを通して「人間とは何か」を考える

京都大学の教育学部は、教員養成を主目的としていません。教育をはじめとする人間の次世代伝承の営みを、現代社会の諸問題と関連づけて探究する知の創出を目指しています。より良き未来社会を実現するために必要な知と技法の開発と人材育成を担っています。

基礎研究と現場実践の往還による知の創出

教育学部では、理論とフィールドでの実践との往還を重視しています。基礎研究の成果を現場にフィードバックし、さらにその結果を基礎研究により検証するループを継続しながら、未来社会に資する学術からの貢献を目指しています。

諸科学の融合による「新たな教育」の探究

人間の営みは、個や社会、文化が複雑に絡み合いながら、そして、時間軸にそってつねに変容し続けていく事象です。そのため、教育学部では、人間を深く探究する人文科学、社会の仕組みや動きを解明する社会科学、人間の身体や脳、心に関する人間科学など多様なアプローチから「人間とは何か」を多面的に探究できる教育・研究プログラムを提供しています。

教育界の次代を担うリーダーの育成

教育は未来を創る営みであり、教育学部は未来に関わる学問を学ぶ場です。変化の激しい現代は未来が見通しにくい時代であり、教育への期待は日増しに大きくなり、果たすべき役割の重要性も高まる一方です。これらに応えるため、教育学部では多様な学問が学べる3系と少人数制の利点を活かした指導により、学生たちを教育界の次代を担うリーダーへと育みます。

3系の紹介

現代教育基礎学系

現代の教育が抱える複雑な課題を多様な観点から解明する

学校の在り方に関心がある人、カリキュラムや授業・評価の開発を目指す人、胎児期からの心の発達や障害に関心をもつ人、教育の問題を歴史的に研究したい人、教育を哲学的に深く考えたい人、そうした人たちが学ぶ系です。

●教育哲学・教育史学　何のために教育は必要か、どのような学校が望ましいか、教育が抱える多様な問題を哲学や歴史学の観点から分析します。学校教育制度や教育に対する考え方の歴史的な成立過程、時代による変遷などについても探究し、新たな学習や教育の姿を提示するための知識や方法論を身につけます。

●教育方法学・発達科学　カリキュラム・授業・評価に関する理論と実践の蓄積に学びます。また、人間の「身体―脳―心―行動」の発達とその多様性のメカニズムを科学的に理解する発達科学のアプローチにより　個別型の発達・教育支援法の開発を目指します。

●教育人間学・臨床教育学　芸術、身体、言語など、人間学の多様なテーマについて、主として思想研究の手法から考察します。また、それらを通じて“ことば”に対する感受性を育て、フィールドに立って考える力を身につけます。

教育心理学系

心の仕組みと働きに関する幅広い識見と柔軟な思考力を育む

「教育心理学系」では、心の仕組みと働きに関する幅広い識見と柔軟な思考力を育成します。あわせて教育・認知心理学、臨床心理学を主とする充実したカリキュラムを組み、他学部等の心理学系教室・教員とも連携しながら活発な教育・研究活動に取り組みます。

●教育・認知心理学　記憶、言語、推論、意思決定、知能、他者理解、共感、社会的認知といった高次認知過程の側面に関する主要な理論や知見を学びます。また、それらの発達の特徴や教授・学習法、動機づけ、メディアやコンピュータの活用など、教育活動と密に関わる心理学の諸側面の知識の習得と応用を目指します。あわせて心理実験・調査やデータ解析などの手法を身につけ、心理学の研究に取り組む基盤を得ていきます。

●臨床心理学　心に関する対人支援に向けた専門知識と技能を身につけることを目指し、自己理解を深めつつ、面接や遊戯などの心理療法、心理査定技法や調査の方法、描画や箱庭といったイメージ表現の理解法などを学びます。こうした専門知識と技能が卒業後、さまざまな仕事や社会行動で活かせるのはもちろん、大学院・修士課程での臨床心理士・公認心理師取得につながります。

相関教育システム論系

教育と社会の結びつきを次代に向けて創造的に探究する

21世紀は学校だけが教育に関わるのではなく、社会全体が人間形成の場となり、そうした社会における教育の柔軟な在り方やネットワーク化が課題になっています。「相関教育システム論系」では、こうした考え方を視野に入れ、教育と社会の結びつきを創造的に探究することを目的に学習します。そのために次代の社会と人間に求められる重要な課題を意識したカリキュラムを提供し、少人数制のゼミや講義をはじめとする特色ある指導を行います。

●教育社会学　人間の社会形成に関わる集団の教育作用について研究すると共に、青少年問題、犯罪・非行からの離脱、児童虐待などの諸課題を社会学的な観点から分析・考察する力を養います。

●メディア文化学・図書館情報学　世論を生み出す広範なメディア現象、また図書館を通じた情報の生成・流通・消費を分析することから、社会と文化を歴史的に読み解く研究を行います。

●文化政策学・生涯教育学　広く人間とその社会が構築されてきた歴史を、多様な文化の取り扱いやその背景にある議論、学校教育を超えた学びの在り方を通じて考える視点を習得します。

●比較教育学・教育政策学　各国の教育制度、政策、実践、理論などを理解する国際的な視野と考え方を学ぶと共に、政策科学的な観点から教育の行財政制度と具体的な政策立案について学習します。

Curriculum Tree

教育学部教育科学科

- 現代教育基礎学系
  - 教育原論／教育人間学／
  - 教育史学／教育方法学／
  - 教育課程論／授業論／
  - 生徒指導論／発達教育論／
  - 発達科学／障害児教育論
- 教育心理学系
  - 教育心理学／認知心理学／
  - 臨床心理学／人格心理学／
  - 発達心理学／メディア教育／
  - 児童・青年心理学／障害児心理学／
  - 社会心理学／教育評価
- 相関教育システム論系
  - 教育社会学／文化社会学／
  - 歴史社会学／犯罪社会学／家族社会学／
  - 福祉社会学／メディア文化学／
  - 文化政策学／図書館情報学／
  - 生涯教育学／比較教育学／
  - 教育行政学／教育制度／
  - 教育財政学

\ 開いてみよう /

学問の扉

教育学部で考える「家族」のあり方。身近な存在だからこそ、客観的に眺める価値がある

教育学部／大学院教育学研究科
藤間 公太 准教授
福岡大学附属大濠高等学校 出身

私の専門分野は家族社会学。社会学の切り口で「家族」を考える学問です。私と社会学との出会いは大学1回生の授業でした。一見、個人の問題にみえることでも、その背後にはかならず社会の仕組みが関係していることを知りました。多くの人にとって、家族という存在は身近すぎるゆえに客観的に見つめることがむずかしく、研究対象として捉えるには個人的な思いに引っ張られやすい。しかし、科学的な視点で1歩引いて眺めると、いくつも課題が見えてきます。

私の中学時代は、「キレる17歳」が取り沙汰された時代。「ほぼ同世代として同じ社会を生きたはずの私とあの人たちとでは、なにが違ったのだろうか」。そんな疑問を背景に、社会学の視点から少年非行の分析を始めたことが研究人生のスタートでした。

現在の研究対象のひとつが施設養護です。非行の背景に虐待があると指摘する論文を読み、保護者のいない児童や虐待されている児童を家族の外でケアする施設養護の事例から家族を相対化する可能性を模索しはじめました。日本は、子育てにおいて家族の負う責任がとても大きい社会です。にもかかわらず、子育てに関する支援は手薄。この傾向は高齢者福祉や障害者福祉でもみられます。多くのケアが「家族でなんとかすべき」という圧力の下に進められています。そのことがケアを担う人を追い込み、虐待などの問題が発生しているならば、家族頼みの社会は子どもにとってもよくないものと言えます。いつか私の研究が不要になったとき、それはすなわち、つらい境遇にいる子どもがいなくなり、社会がよい方向に変化したことを意味するはず。そんな未来を想像して、成果を実践や政策につなぐことも視野に入れた研究をつづけています。

つきつめるほどに新しい謎に出会うのが学問。自分は出会った謎をそのままにできなくて、「思い残すことのないように」と研究の道に飛び込みました。若さゆえの体力と、冷めやらぬ好奇心に満ちた大学時代は、次つぎと新しいアイデアが浮かんでくる時期。他人の目や評価を気にするのは、私くらいの年齢になってからでも充分。京大では、ご自身の好奇心のまま、納得のゆくまで思いきりやりたいことに挑戦してください。

先輩が教える 京都大学の魅力

教育学部で培った〈知〉の基礎体力

教育学部は教育に限らず、歴史や心理、制度など多様な人間の営みを学問として追究できる学部です。私は元々人間の心理や発達にぼんやりと関心があり教育学部を選びましたが、様々な領域の授業を受けたり、膨大な研究の蓄積に触れたりする中で最終的には思想や哲学研究を中心とした教育方法学という分野に興味を持ち、修士にも進学しました。学びとは何かを理論的・実践的に学んだことと、その過程で得た知的体力のおかげで今の仕事が一層楽しいものになっていると思います。

卒業生
学校法人大阪医科薬科大学
高槻中学校・高槻高等学校
2024年3月 大学院教育学研究科 修了
小松 佳生 さん
高知県 高知学芸高等学校 出身

大学院の紹介

大学院教育学研究科

教育学研究科が担う人材育成

少子高齢化の進展、地球温暖化問題、世界情勢の緊迫化、そして新型コロナウイルス感染症の世界的大流行など、今、私たちはかつてないほど困難な問題に直面しています。それらの課題解決に科学技術が果敢に挑戦し、未来社会の展望を切り拓いていくことが求められていますが、そのためには、あらゆる分野の知見を総合的に活用して諸課題に向き合うことが不可欠です。本研究科は、人間の思想や歴史、生き方や行動、文化などを追求する人文科学、社会の仕組みや動きを解明する社会科学、人間の身体や脳、心に関する人間科学などの多様なアプローチから「人間とは何か」という基本的命題を探究し、現代社会の諸問題を解決しうる知の創出を目指しています。その基本となる活動は、「理論とフィールド（場）との往還」です。基礎研究の成果を場にフィードバックし、さらにその結果を基礎研究により検証するループを繰り返します。こうした過程を通じて、一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現できる社会を築くトップリーダーを育成します。

卒業後の進路

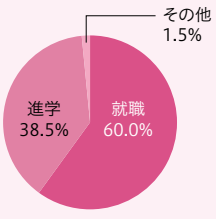
■進学　例年3割ほどの学生が本学「教育学研究科」などの大学院に進学します。中学校や高校の教職に就く学生も少なくありませんが、文部科学省や法務省をはじめとする官公庁の他、マスコミや出版、金融・保険や各種メーカー、サービス業など、就職先は多岐にわたります。

■就職先の例　国税庁大阪国税局／一般財団法人日本海事協会／学校法人中・高教員／㈱野村総合研究所／㈱電通／三菱商事㈱／三井住友信託銀行㈱／みずほ証券㈱研究所／㈱NTTデータ／㈱JTB／東日本電信電話㈱／西日本電信電話㈱／大阪ガス㈱／東芝エネルギーシステムズ㈱／日本たばこ産業㈱／㈱ベネッセコーポレーション／㈱ライフコーポレーション／㈱ニトリ

■取得可能な資格　【公認心理師試験の受験資格】
公認心理師法に定める公認心理師の資格を得るためには、国が実施する公認心理師試験に合格する必要がありますが、本学部・研究科の修学期間内に、同試験への受験資格を得るために必要な科目を履修することができます。具体的には、文部科学省令・厚生労働省令に定められている科目を、大学（学部）及び大学院（研究科）においてそれぞれ履修し必要単位を修得する等により、受験資格を得ることができます。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科
中学校一種……社会
高等学校一種……地理歴史／公民
特別支援学校教諭一種……聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者

2024年度 卒業生の状況



Faculty of Law

法学部図書館

法学部
Faculty of Law

目標を見定め、幅広い選択肢から
自らの「学びのかたち」を選びとり、
知識を組み合わせる構想力と
国家や社会を見直す大局観を養う

法学部が望む学生像

法学部では、世界・国家・社会のさまざまな問題に対する強い関心をもち、多方面にわたる学力、とりわけ社会科学に関する基礎的な学力を備え、論理的思考力に優れた学生を求めています。

法学部の特徴

1 視野を広げる教養科目の充実

「教養科目」である「全学共通科目」は人文・社会科学科目群、自然科学科目群、統合科学科目群、外国語科目群、情報学科目群等で構成されています。これら全学共通科目は4年間、どの学年でも履修できるようになっていますが、法学部では専門科目が主となる3年次までに学び、英語をふくむ外国語の運用能力や豊かな教養を培いつつ、視野を広げるようにしています。

2 年次進行にあわせて増える専門科目

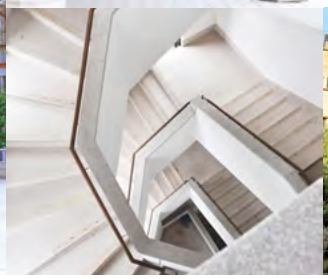
「専門科目」は、内容に応じ、履修できる学年を定めています。1年次では、導入的な専門科目として法学入門、政治学入門、家族と法を履修します。また、憲法(統治機構)、憲法(基本権)、民法(総論・総則・親族)、刑法(総論)など法体系の全体像や基本の理解につながる科目も、3年次までに履修します。これ以外の専門科目は、3・4年次に配当されるものが中心ですが、政治学関連科目のほか、基礎法関連科目と公法・民刑事法関連科目の一部は、2年次でも履修できます。

3 特別科目や演習で社会変化に呼応

社会の全体像や動きを捉えるには経済学の知識も必要であり、法学部では導入的な専門科目としてミクロ経済学入門のほか、経済学部の一部科目が履修できます。また、毎年かならず開講される基本的な専門科目に加え、新たな法律・政治現象、企業の法実務及び国際化などに呼応する特別科目も年度ごとに開講しています。さらに、1年次に配当される法学政治学基礎演習、3・4年次に配当される演習(ゼミ)では、少人数クラスで周到な予習にもとづく活発な討論が行われています。

4 自由度の高い科目選択と主体的学習

専門科目に“必修”設定がないのも京都大学・法学部の特色です。その主旨は「自身の将来は自身で設計する」という考え方にあり、自分がどのような科目を選択し、どのような学習計画を構築するか、すべて学生各自の主体性に任されています。
※堅実な学習を促すため、各学期(セメスター)に履修登録できる単位数には上限を設けています(キャップ制)。



5 法科大学院への早期進学の道も

法学部では、特に意欲がある法曹志望者のために、京都大学法科大学院の教育課程と連携した「法曹基礎プログラム」を用意しています。3年次の終わりに、成績優秀、必修科目履修等の同プログラムの修了要件を満たしている場合は、法学部を3年間で早期卒業して法科大学院に進学することも認められます。

ココに注目!

4万人を超える有為な人材を輩出

法学部は1899(明治32)年に法科大学として創設され、今日まで4万人を超える有為な人材を社会に輩出してきました。また、創設期の教授陣は自由な学問研究を尊重し、東京帝国大学とは異なる大学の在り方を模索しました。

学生の自主的学習を奨励

創設当初、必修化された演習(ゼミ)は今も、重視されています。それは学びの選択肢に自由な余地を限りなく広げ、学生の自主的学習を奨励するという伝統となり、今も脈々と受け継がれています。

法科大学院と公共政策大学院を設置

京都大学法学部は戦後の経済・社会の急激な変容、文化・科学の著しい進展に対応し、講座数および教員数を拡充してきました。あわせて1992年から研究・教育の国際化・学際化・高度化に対応するため、それまで学部に配置されていた講座を大学院に配置、大学院の教員が学部教育も担当しています。さらに2004年には法曹の養成を目的とした専門職大学院「法科大学院」を設置。2006年には経済学研究科と協力し、公共的な役割を担う高度専門職業人の養成を目的とした専門職大学院「公共政策大学院」を設置しました。

国家や社会を見直す大局観を養成

京都大学法学部は国家や社会の在り方を見直すことに関わり、組織で指導的な役割を果たせる人材養成を目的としています。今日、世界も日本も大きな転換期を迎え、さまざまな問題をかかえています。こうした状況に向きあい、新しい制度を設計するためには、文化の多様性を尊重し、平和な社会の実現に貢献できる豊かな国際感覚を備え、法律や政治の仕組みに関する専門的な知識をもつとともに、社会全体を視野に入れ、知識を組み合わせる構想力や大局観を養わなければなりません。京都大学法学部は、こうした能力を備えた人材を育成するために、豊かな教養と法律学・政治学の専門知を提供しています。

専門科目の紹介

専門科目

法体系の全体像と基本を捉え、新たな制度設計や社会実践につなげる

京都大学法学部は、自由の学風の下、グローバルな視点から、法、政治、経済及び社会を多角的かつ総合的に捉え、多様な価値観や文化を尊重し、地球・自然環境に配慮しつつ、多元的な課題の解決に取り組み、人々が協働し共に生きる社会の実現のために指導的な役割を果たすことができる優れた能力及び資質と高い志を備えた人材を養成することを教育目標として掲げて、様々な専門科目を提供しています。

基本法学	法史学／法理論／外国法
公法	憲法／行政法／租税法／国際法
民事刑法	民事法／企業関係法／社会法／国際私法／刑事法
政治学	政策／行政／国際関係／比較政治／歴史／思想

●法学部での学びと生活について、
『DISCOVER京大法学部』も是非ご覧ください
https://law.kyoto-u.ac.jp/undergraduate/reason/

●専門科目の詳細、担当教員によるメッセージはこちらです
https://law.kyoto-u.ac.jp/kyoin/message/

演習（ゼミ）

法学部の創設当初から重要視され続けてきた演習（ゼミ）では、徹底した少人数制と周到な予習に基づき、活発な議論・討論に取り組みます。

●法学領域　法理学／法社会学／日本法制史／西洋法制史／ローマ法／東洋法史／フランス法／憲法／行政法／環境法／租税法／国際法／国際機構法／民法／商法／経済法／知的財産法／民事訴訟法／国際私法／国際取引法／労働法／社会保障法／刑法／刑事訴訟法／刑事学

●政治学領域　政治原論／政治過程論／比較政治学／アメリカ政治／国際政治学／政治史／日本政治外交史／政治思想史／行政学／公共政策

京都大学 法学部の4年間

1年次

●入学式
京都大学全体の入学式終了後、歴史ある法経第四教室で厳かな雰囲気による法学部だけの入学式も行われます。

●始業・履修登録
ガイダンスや先輩のアドバイスなどを参考にしながら、自分自身の“時間割”をつくります。

●クラス分け
8つあるクラス分けが発表されます。1年次で主に学ぶ教養科目や以降の専門科目はすべて選択制ですが、語学の授業はクラス単位で受講します。

●前期試験
夏休み前の7月・8月、京大生として初めての定期試験が行われます。

●11月祭
クラスやクラブ・サークルで出展（出店）します。仲間との一体感が生まれる場でもあります。

●後期試験
春休み前の1月・2月、後期試験が行われます。1年間の学びの成果が問われます。

2年次

●新入生歓迎会
後輩を迎え、アドバイスをする立場に。学業、クラブ・サークル、アルバイト、多忙だけれど充実した毎日を過ごします。

●専門科目の履修
1年次では少なかった専門科目が増え、憲法や民法、刑法などの法学基礎科目に取り組みながら、リーガルマインドを養います。

●法学専門サークル
法学部サークル連合（略称：法サ連）という法学・政治学に関するサークルに入部したり、課外で専門的な活動を行う学生も増えていきます。

●演習（ゼミ）登録
これまでの学びを通じて抱いた興味・関心に基づき、12月に3年次の演習（ゼミ）登録を行います。

●将来設計
登録したゼミをふくめ、今後の専攻分野や将来の進路について、自身の適性や可能性を探っていきます。

3年次

●演習（ゼミ）
法学部の創設当初から重要視されているゼミでの学びがスタート。授業時間に関わらず、議論・討論は尽きません。

●海外留学
視野を世界に広げることを目的に、交流協定を結ぶ海外諸大学への留学は、2・3年次が好機です。

●進路選択
この時期、インターンシップに取り組む学生も少なくありません。そうした経験に基づき、就職か法科大学院などへの進学か、進路を見定めるのもこの時期です。

●進学準備
法科大学院や公共政策大学院への進学を決めた学生は、試験準備を開始します。

●就職活動準備
就職を選ぶ学生は企業説明会への出席など、就職活動の準備を始めます。

4年次

●進路活動
法科大学院や公務員を志望する学生は各試験に向けた勉強に、一般企業を志望する学生は就職活動に、それぞれ懸命に励みます。

●省庁まわり
公務員試験を経て、国家公務員総合職の合格者は東京の各省庁を訪問し、志望意志を固めます。

●法科大学院合格発表
合格はゴールではなく、法曹へのスタート地点。あらためて気を引き締め直し、学び続ける姿勢を保ちます。

●最後の期末試験
大学院への進学、省庁への入庁、企業への就職、卒業後の雄飛に向けて、最後の期末試験で4年間の成果を示します。

●卒業式
充実した4年間を振り返りながら、仲間や恩師と今後の活躍、社会貢献を誓い合います。

\ 開いてみよう /

学問の扉

法律はよりよい社会を営むための枠組み。社会を捉えるさまざまな視点をもつことの大切さ

法学部／大学院法学研究科

木村 敦子 教授

大阪教育大学附属高等学校
天王寺校舎 出身

私が研究するのは民法のなかの家族法、とくに親子関係に関する法律です。人はどのようにして「親」になるのでしょうか。子どもを産めば親になると考える方が多いと思いますが、例えば代理出産のように、出産した女性と遺伝学的に親にあたる卵子を提供した女性とが異なる場合もあります。医療技術が進んだことで、明治時代に制定された民法典では想定されていなかった問題が生じるなか、当事者や産まれてくる子どもにとってどのようなルールが最善かを模索しています。

法学は現実社会を見つめ、また社会がどうあるべきかを考える性格が強い学問です。法はよりよい社会を営むための枠組みの一つである以上、人々に受け入れられ、その生活を支えていくものでなければなりません。そのためには、誰もが納得できる論理的思考や説得的な論拠を用いながら、他者と議論することが不可欠となります。法学とは、法律の内容を覚えるものではなく、社会のルール・仕組みの基礎には人や社会に対するどのような考え方があるのか、その考えを説得的に論じるために必要な論理的思考とは何か、ということを探る学問だと思っています。

また、法学を学ぶにあたっては、社会を捉える幅広い視野を持つことも重要です。医療やAIなどの技術の進展、経済システムの変化、環境問題など、人々を取り巻く社会的背景の理解も不可欠です。京大法学部の特徴は、それら先端的問題も含めて、法学も政治学も学科の隔てがなく自由に学べることにあります。専門科目に必修科目もないため、まさに自由な学びが可能です。みなさんの将来を考えながら京大の環境を存分に活用してください。現実社会とあるべき社会の姿とを見つめつつ、さまざまな観点から理論的思索を進めていく、そうした法学・政治学の面白さを感じとってもらいたいと思います。

私が法律に興味をもったのは高校生のころでした。臓器提供意思表示カードで自分の意思を示すのに「なぜ親の同意が必要なのか？」と疑問に感じたことが出発点です。みなさんも日常のなかで「あれ？」と思ったことがあるはずです。その違和感は、もっと突き詰めると社会制度や社会構造に対する疑問に結びついていくかもしれません。掘り下げてみると、法や政治について考える楽しさがわかってきます。大学4年間で多くの学問に触れ、自分なりの社会の捉え方を身につけてください。その力は将来社会で活躍するうえで、あなたの羅針盤になるはずです。

先輩が教える 京都大学の魅力

恵まれた環境で学問の真髄に触れる喜び

在校生

法学部 3回生

西村 陽葵 さん

大阪府
大阪府立三国丘高等学校 出身

自由度の高いカリキュラム、豊富な資料を誇る図書館、そして、知性と個性にあふれる教授や学友たち―。京都大学法学部は、好奇心の赴くままに、学びをとことん追究できる場所です。「知りたい」「学びたい」という思いにどこまでも応えてくれる環境が、ここにはあります。私自身、入学してから何度も、学問の奥深さに触れる感動を味わってきました。皆さんもぜひ、大学生の特権ともいえる自由な時間を思う存分、法学部での学びに費やし、知的好奇心を満たしてみてください。

大学院の紹介

大学院法学研究科

法学・政治学の研究者や専門職業人をめざす

法学研究科法政理論専攻では、広い視野に立って精深な学識を修め、原理的問題と現代社会への関心を備えた研究者や専門職業人としての修養を積む教育が行われています。修士課程は研究者養成コースと先端法務コースに分かれ、前者は法学政治学の精深な学識を修得し、多角的視点から創造的な研究を行える優れた研究能力を得ること、後者は企業法務を中心に高度に専門的な職業を担う能力を得ることを目指します。博士後期課程は、広い視野と多面的・多角的な視点から独創的な研究を行い、研究成果を国内外に発信できる卓越した研究能力を得ること、また高度専門職業人となりうる精深な学識を得ることを目指します。法政理論専攻の修了者には、高等教育機関における教育研究または高度に専門的な職業に従事し指導的な役割を果たす途が開かれています。

卒業後の進路

■概要　国家・地方公務員、民間企業、法科大学院をふくむ大学院への進学など、進路は多岐にわたります。大学院に進学する学生の約8割は、京都大学をはじめとする全国の法科大学院に進んでいます。また、京都大学公共政策大学院は例年、入学者の約2割が本学部の出身です。民間企業への就職先は、従来主流だった金融・保険業に限らず、幅広い業種・業界にわたっています。

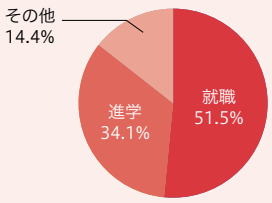
■就職先の例　㈱三井住友銀行／㈱三菱UFJ銀行／㈱みずほ銀行／東海旅客鉄道㈱／関西電力㈱／日本製鉄㈱／伊藤忠丸紅鉄鋼㈱／住友商事㈱／楽天グループ㈱／清水建設㈱／㈱大林組／アクセンチュア㈱／有限責任監査法人トーマツ／国立医薬品食品衛生研究所／日本銀行　など

■取得可能な資格　法学部では、教育職員免許状の取得を目的とした教職課程を設けています。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科

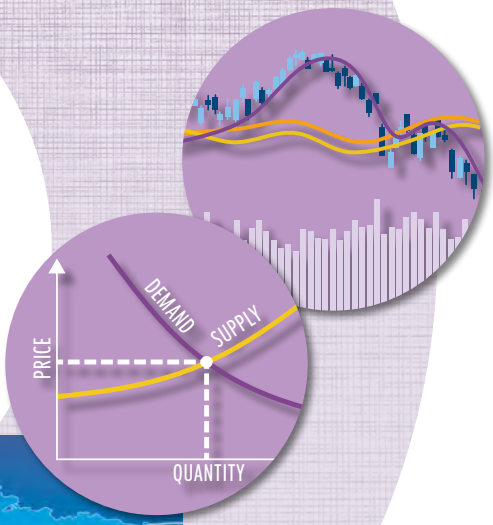
中学校一種……社会
高等学校一種……公民

2024年度 卒業生の状況



経済学部
Faculty of Economics

■ 経済経営学科



未来を切り拓く
柔軟な思考力と豊かな創造力を培う

経済学部が望む学生像

京都大学経済学部は、経済学・経営学的分析能力を修得できる知力と探究心を持ち、かつ、教員や他の学生と積極的に討論を重ねることにより、自主的に考え創造的な提案が行える人材に成長できる学生を求めており、以下のような学生の入学を期待しています。

●高等学校教育を通じて広範で高度な基礎知識を身につけるとともに、論理的思考力ならびに語学能力を修得している人

●社会・経済活動全般に積極的に関与したいと考える、知的好奇心が旺盛な人

このような学生を選択するために高等学校の文系教育課程に対応した一般学力検査による選抜（190名）だけでなく、理系の教育課程に対応した学力検査による選抜（25名）や特色入試（25名）等を導入しています。

経済学部の特徴

1 経済学と経営学の融合

国内外の経済の複雑化、企業経営の変容を踏まえ、経済学と経営学の関連性を重視して、１学科制を採用しています。経済学、経営学およびそれらの隣接領域を総合的に学習することができ、幅広い知識と深い思考力を身につけることができるよう配慮しています。

2 学士・修士5年プログラム

修士課程の科目を早期履修することで、学部・修士課程を通常より１年短縮し、通算５年で修了することができます。それにより、早期に研究者としてのキャリアをスタートさせることも、高度な専門知識を必要とする職に就くことも可能になります。

3 体系的履修と少人数教育

関心と進路に応じて体系的に専門知識を修得することができます。少人数教育は演習を通じて行われ、指導教員と学生がテーマごとに議論を交わす対話型学習により、柔軟な思考力と創造性を養います。

4 経済界との産学連携

学外より実務の第一線で活躍する方々を迎え、実践的な教育や研究をしています。実務家と接することで、金融市場や地域経済、地球環境やエネルギーの問題にふれ、現代経済に対する理解を深めます。

ココに注目！

経済学と歩んで100年

経済学部は1919（大正８）年に法学部（法科大学）から分かれて誕生しました。2019年には100周年を迎えた、日本で最も古い経済学部の一つです。この長い歴史のなかで京都大学経済学部は、多数の著名な研究者、個性的な実業界のリーダーや各方面で活躍する優れた人材を送り出してきました。さらに革新を求め、絶えず先端的な分野の拡充をはかってきました。
本学部の特色は、京都という地域に相応しい「伝統と革新」、そして京都大学の先人たちに共有されてきたリベラルな知的雰囲気にあります。

経済の未来と対話

経済学部は、「自由の学風」のもと、経済学・経営学の立場から、経済活動や企業活動を考えるだけではなく、個人や社会の厚生を考える学問をする場です。自学自習を基本精神として、財政、産業、雇用、金融、地球環境、国際市場、経済発展などの複雑で多様な問題について歴史・思想などを根底から学び、その解決策を考えます。経済学や経営学の専門科目だけでなく幅広い分野から自主的に選択し自由に学ぶことができます。また、大学院との共通科目や社会人講師による実践的講義も開講しています。
さらに、本学部では創立以来、演習（ゼミナール）制度を重視し、少人数の学生と担当教員による対話型学習システムをつくってきました。演習では指導教員のもとで少人数の学生同士でこうした諸問題に関するテーマを学び、報告、検討しながら問題の本質を捉えるべく対話的学習をします。

多様性と国際性

経済学部は、理系入試や特色入試をはじめ、外国学校出身者入試、３年次編入学入試など国立大学の中で先んじて多様な入試制度を導入してきました。それによりさまざまなバックグラウンドを持つ学生同士が刺激しあいながら切磋琢磨し、豊かな教養と人間性、国際感覚を身につけることを目指しています。
本学部では交流協定締結校への学生派遣に応募することができ、多くの学生が英語圏のみならず多様な国や地域への留学を経験しています。本学部独自の学生交流協定制度を積極的に活用して世界の大学へ留学し、自分の可能性をどんどん広げてください。

9つの入門科目

経済学と経営学を横断して学ぶために双方の基礎と土台を固める

京都大学の経済学部は、かつての経済学科と経営学科を統合した経済経営学科の1学科制であり、社会で密に関連しあう両学問を横断して学びます。ただし、それには経済学と経営学、双方の基礎を固める必要があり、1年次に9つの入門科目を学びます（以下は各科目の学問概説）。

ミクロ経済学入門

「ミクロ経済学」は、消費者個人や個別企業、その集合体としての市場を分析します。消費者の財に対する個人的評価と市場における価格との関係を通して、資源の効率的分配や社会全体の厚生度を考察し、その厚生基準をもとに、税制等の価格政策が与える影響や、公害を生む生産への対策、国防等の公共的な財の生産などについて検討します。一方で、寡占など、少数市場参加者の戦略的相互依存関係を分析するために「ゲーム理論」という枠組みも提供しています。契約者の真の健康状態を知らない場合、保険会社がどのような契約を提供すべきかなど、相手方の情報が不完備な場合の契約設計などにも「ゲーム理論」は応用されています。

マクロ経済学入門

マクロ経済学は経済全体を分析する学問です。GDP、インフレ率、失業率など、経済全体で集計される変数を分析対象とします。そのような変数の決定には非常に多くの家計・企業・公的部門の活動が関わってくるので、背後にあるメカニズムを解明することは容易ではありませんが、経済学理論およびデータを駆使してそのメカニズムを解明し、得られた結果に基づいて有効な政策を提示することがマクロ経済学の主要な目標です。マクロ経済学を学ぶことで、経済成長をいかにして実現するか、短期的な経済の変動をいかにして抑制するか、経済格差の拡大にどのように対処するか、といった課題にアプローチするための一つの枠組みを手にすることができます。

社会経済学入門

「社会経済学」はスミス、リカード、マルクスなど、古典派と呼ばれる人たちの理論の総称でした。彼等は経済分野だけでなく、政治や文化などの分野にも広がる社会的視座をもつと共に、数世紀におよぶ歴史を考察する長期的視野をもっていました。しかし20世紀に入ると大量生産技術の成立といった技術面の変化、巨大企業の出現といった組織面の変化により、古典派経済理論の有効性は低下しました。こうした資本主義の変化をふまえ、新たな理論を創出したのがケインズとカレツキです。現代の社会経済学は、古典派経済学者たちの社会的歴史的視点とケインズおよびカレツキの理論を結合し、現代資本主義の構造や制度を分析していきます。

経営学入門

経営学とは、「人」「組織」「社会」の関係性を「経営」という視点から探求する学問です。企業が直面する課題には、デジタル化、グローバル化、気候変動への対応があり、それに伴う意思決定を学びます。さらに、経営者は環境保護か利潤追求か、成長か効率か、既存技術の深化か新技術の探索か、海外進出か国内需要の開拓か、伝統かデジタル化かといった相反する選択に直面し、そのバランスを取ることが求められます。経営には無数の解があり、そのプロセスにはデータ、論理、実践が不可欠です。現代の経営は、理想と現実、短期と長期、個別と全体を調整する難しい判断が常に必要です。経営学は、この複雑な状況で最適な選択をする力を養います。

会計学入門

「会計学」は〈事業の言語〉とよばれる会計を対象に発達した学問です。また、会計学は事業体の現象を正確に理解するとともに、望ましい会計について考える学問でもあります。
こうした会計は、社会会計・国民経済計算などの「マクロ会計」、家計・企業会計・非営利法人会計・公会計などの「ミクロ会計」、2つに大別されます。さらに会計情報の利用者ごと、企業外部の株主や債権者などに対する「財務会計」、経営者などのための「管理会計」、2つに分類されており、それぞれに対応するため、財務会計学と管理会計学、2つの学問分野が発達しています。

情報処理入門

コンピュータやインターネット、人工知能（AI）などの情報処理・情報通信技術は著しい発達を遂げて、社会のあらゆるところに関わるようになりました。しかも今なお進歩を続けていて、日常生活から企業・公共団体・国家にいたるまで社会の姿を大きく変えてきています。このような社会の一員として適切に振る舞い、活動を行っていくためには、情報とその技術について理解を深めるとともに、それらが社会にどのような影響を与えているかを認識することが重要です。「情報処理入門」では、情報の基礎的なリテラシー（情報に対する理解と活用の能力）とともに、経済学部での学びに求められる情報科学の基礎を習得することを目指します。

統計学1

「統計学」はデータを収集・分析・解釈するための学問です。統計学のアプローチは、大学や公的機関における研究活動からビジネスの現場まで、広く活用されています。例えば、少人数クラス教育のような国・地方自治体等が取り組む政策の評価、物価上昇率のような経済・物価情勢の予測、ウェブ広告のようなビジネスにおける施策の効果検証といった現実社会の課題に迫るためのアプローチを統計学は提供しています。「統計学1」をはじめとする経済学部のデータサイエンス科目では、そのようなデータ分析事例を学ぶとともに、データ分析を実践するために役立つ統計学のアプローチとプログラミング技術の習得を目指した体系的な学習を行います。

現代経済事情

「現代経済事情」は、「入門」科目のひとつですが、経済学の特定の分野の「基礎」を学ぶわけではありません。この科目では、今日的意義をもつ現実の社会・経済問題を素材にとりあげ、入門レベルながらも、総合的・多角的な視角からの分析を試みます。問題関心を育み、社会科学的な感性と関心（＝「驚嘆する能力」）を養うこと、これがこの科目の狙いです。
「現代経済事情」で講義する経済政策論、財政政策論、産業政策論、食農政策論、環境政策論などには、「現代の社会問題や経済問題を素材に考える」という共通項があります。現実の経済問題などへの感受性と複眼的な視点を養いつつ、総合的・多面的に分析する視角の習得を目指します。

経済史・思想史入門

この科目は、昔のことから新しいことを知る「温故知新」の意図を持ちます。また、経済史と思想史という二つの分野を並行して学ぶ意味は、現在の経済社会を歴史的に眺めることにあり、経済や社会に関する「忘れられた課題」を再発見し、あわせて「新しい課題」や「経済学のあり方」を構想します。たとえば、ある国の経済大国化の過程や特定の企業や産業の盛衰の分析からその条件や問題点を学んだり、人間が集団形成するときの経済問題や社会問題を把握することで理想社会を構想します。これらの作業に取り組みながら、歴史的な発想法を身につけ、当然と思っていた日常から〈新たな可能性〉を発見する視座を養います。

\ 開いてみよう /
学問の扉

モデルを虫眼鏡に
人と社会の行動原理をのぞく

経済学部／
大学院経済学研究科
安井 大真 教授
島根県立
松江北高等学校 出身

私が取り組むのは先進国における出生率低下のメカニズムの解明です。経済学と出生率の研究がどのように結びつくのか、疑問を持つ方がいらっしゃるかもしれません。経済学とは、為替や株といった「お金の流れに関する学問」という印象を持つ方が多いことも事実です。しかし、経済学は金銭や財の流れにとどまらず、人々が何らかの意思決定をすることによって起こる、あらゆる社会現象が守備範囲です。したがって、結婚するかしないか、子どもを生むか生まないか、何人子どもを生むかといった多くの意思決定の結果として決まる子ども数、さらにはその社会全体の集計である出生率も当然のことながら経済学の分析の範疇となります。

経済学の研究アプローチは分野や研究者によってさまざまですが、私は主にマクロ経済学的なアプローチで研究をしています。マクロ経済学は、社会全体の動きに着目する学問で、対象となるのはGDPや失業率といった経済全体のパフォーマンスの指標となる変数が代表的なものです。私の研究対象である出生率もそのような重要なマクロ経済変数と密接に関係しているので、人々の出生行動を分析することもマクロ経済学において重要な課題の一つです。

具体的に出生率に影響を与える要因としては、所得水準、教育水準、人口構成、育児に関わる環境など、さまざまなものが考えられます。複雑に絡みあう要因を分析するために、社会を単純化したモデルで表すと、漠然と社会を観察しているだけでは思いつかなかったようなメカニズムの存在に気付くこともしばしばあります。その瞬間のはっと目が覚めるような感覚が、研究のいちばんの醍醐味であり、推進力でもあります。

経済学部は社会的な現象に好奇心をもち、人の行動の背後にある原理を知りたい人、数理的に考えられる人を歓迎します。いまの学生は情報学やプログラミングの基礎を高校までに学んでいるので、そのような点では、私の入学した時代と比べると、大学入学時点でアドバンテージがあります。一方で、経済学には数学の知識が欠かせませんが、数学的な素養は十分とは言えないように感じます。文系の方の中には数学が苦手という方もいると思いますが、苦手意識をもたずにじっくりと考える習慣をつけてください。入学後に経済学の面白さをより実感できるはずです。

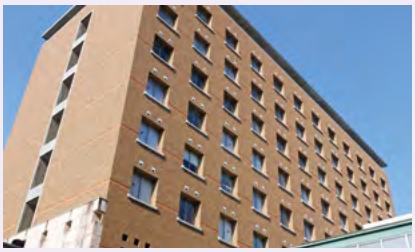
先輩が教える **京都大学の魅力**

卒業生
住友商事株式会社
2025年3月
経済学部経済経営学科 卒業
佐藤 友哉 さん
長野県
松本秀峰中等教育学校 出身

充実した環境のもと、
学生生活を謳歌できます

京都大学経済学部の最大の魅力は、充実した学びの環境が整っていることです。例えば、大学内には約40の図書館があり、合計で740万冊以上の蔵書を誇ります。経済学部図書館には、閲覧室に加えて8階建ての書庫もあり、院生や教授のみならず学部生でさえも自由に利用できます。さらに、自ら求めさえすれば、各分野で名高い教授陣のもとで指導を受けることもできます。全国から集う仲間と共に、自然と文化の豊かな京都の地で、ぜひ自由の校風を謳歌してください！

大学院の紹介



大学院経済学研究科

100年の伝統に学び、
最先端を切り拓く知を養う

経済学研究科の修士課程には、博士の学位を目指す「研究者養成プログラム」、経済学の専門知識を備えた職業人を養成する「高度専門人材養成プログラム」、英語を共通言語とした「東アジア持続的経済発展研究プログラム」の3つのプログラムからなる経済学専攻と英語による教育を行う国際共同学位（ジョイント・ディグリー）課程である国際連携グローバル経済・地域創造専攻の2つの専攻があります。博士後期課程では、「研究者養成プログラム」、「東アジア持続的経済発展研究プログラム」の2つのプログラムにより研究者の養成を行っています。

また、研究科の特色として、ジョイント・ディグリーやダブル・ディグリーによるグローバル人材の育成にも取り組んでいます。

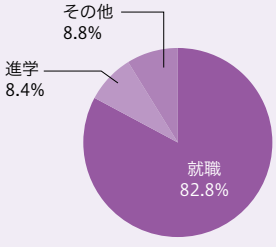
経済学という学問の知恵、知識、技術を通じて、現代社会の様々な課題に貢献することのできる人材を輩出することが本研究科の理念です。

卒業後の進路

■概要　京都大学の経済学部は、学界のリーダーとなる多数の優れた研究者をはじめ、世界・実業界のトップリーダーも数多く輩出してきました。なお近年の大学院進学者は1割前後であり、9割前後が就職します。就職先としては、金融庁や外務省、会計検査院、総務省、日本銀行などの官公庁の他、金融・保険・証券業が主流でしたが、この数年は業種・業界を問わず幅広くなっています。

■就職先の例　野村證券㈱／大和証券㈱／SMBC日興証券㈱／東京海上日動火災保険㈱／三井住友海上火災保険㈱／日本銀行／㈱三井住友銀行／㈱三菱UFJ銀行／日本生命保険（相）／東海旅客鉄道㈱／丸紅㈱／伊藤忠商事㈱／住友商事㈱／㈱村田製作所／京セラ㈱／三菱地所㈱／関西電力㈱／大阪瓦斯㈱／㈱キーエンス／㈱リクルート／TOPPANホールディングス㈱／アマゾンジャパン（同）／ロート製薬㈱／EY新日本有限責任監査法人／有限責任あずさ監査法人／有限責任監査法人トーマツ／アクセンチュア㈱／アビームコンサルティング㈱／PwCコンサルティング（同）／経済産業省／金融庁／各府県庁・市役所　など

2024年度 卒業生の状況

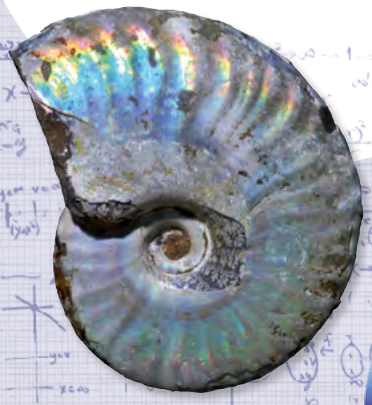


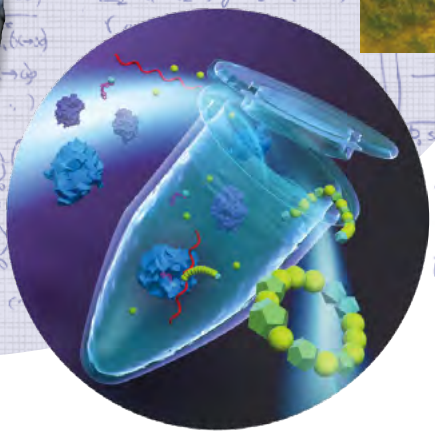
白馬岳のコバイケイソウ集団

理学部
Faculty of Science

自然への疑問に向きあいながら自然の理（ことわり）を学ぶ

■ 理学科





理学部が望む学生像

●自由を尊重し、既成の概念を無批判に受け入れることなく、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢をもつ人。
●高等学校の教育課程により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人。

理学部の特徴

1 明確な目標に基づく創造性の養成

京都大学の理学部は、学生を次代の自然科学を担う人材に育むことをめざし、2つの具体的な教育目標を掲げています。
❶自然科学の基礎体系を深く習得し、それを創造的に展開する能力を養成する。
❷個々の知識を総合化し、新たな知的価値を創出する能力を養成する。
この教育目標に基づき、自由な雰囲気による学問創造と自律学習を促しながら、理学科のみの1学科制ならではの〈緩やかな専門化〉を経て、研究の最前線へと向かいます。

2 当初2年間で教養と専門性の基礎を培う

京都大学の理学部では1年次から2年次にかけて、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に学び、あわせて学部の「専門基礎科目」を履修します。「全学共通科目」は、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群、計8科目群に分類されています（自然科学科目群には理学部教員が担当する科目も多数です）。学部「専門基礎科目」は3年次から所属する学系での専門的な学びや研究の土台になります。こうした2年間により、高度な専門分野を学ぶための基礎を養うとともに、幅広い学問にふれることで豊かな教養を身につけ、人間的な視野を広げます。

3 自然科学の先端知を獲得する5学系

2年次の終わりに選択・登録し、3年次から所属する5学系は、それぞれ概ね次のような専門分野と対応しています。また、各学系では演習（ゼミ）や実験・実習をふくむ専門科目を履修、京都大学の理学部が蓄積してきた先端知の獲得をめざして学びます。
●数理科学系……数学
●物理科学系……物理学／宇宙物理学
●地球惑星科学系……地球物理学／地質学鉱物学
●化学系……化学
●生物科学系……動物学／植物学／生物物理学
※各学系の詳細は36ページ参照

4 卒業研究に取り組む4年次

4年次の卒業研究は必修となっており、課題研究に取り組みます。その際、学生は担当教員から個別に指導を受け、研究手法を身につけながら課題を追究し、その結果をまとめる能力を養います。これらを通じ、より高度な専門研究への意欲を高めることを期待しています。

5 学部3年次の修了による大学院進学

理学部と接続する大学院「理学研究科」の数学・数理解析専攻と化学専攻では、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績で修得したと理学研究科が認めた者には、大学院修士課程の出願を認めています。また、博士後期課程で特に優れた研究成果を挙げた者については、修士課程と通算5年未満の在学で博士の学位が授与されることがあります。

ココに注目！

自然の〈秘密〉を解くことを愉しむ学部

自然はどのようになっているのか、なぜ自然はそのように成り立っているのか、自然を動かす法則は何なのか、私たち人間はつねづねこのような疑問を抱きます。京都大学の理学部は、誰も答えを教えてくれない自然への疑問をもつ人たちが集まり、自然の声に耳を傾けながら疑問を解いていくとともに、どこまでも深い自然の〈秘密〉を探り続けることを愉しむ学部です。

従来の枠組みにとらわれない人材を育成

京都大学の理学部は理学科のみの1学科制です。この制度の意図は、分野・領域が多岐にわたる理学を学ぶ過程で発見した自身の適性に応じた専門選択を可能にするためであり、あわせてそうした自由性により、従来の学問分野の枠組みにとらわれない人材を育成することも狙っています。

教育の基本方針は個々の意欲の尊重

京都大学の理学部では3年次から5学系のいずれかに選択分属し、少人数でのゼミや実験・実習などの研究活動を通じて専門知を獲得します。その間、もっとも大切なのは〈自ら学ぶ意欲〉にほかなく、その尊重と伸長を教育の基本方針としています。

数多くの独創的な研究者を輩出

京都大学の理学部はノーベル賞やフィールズ賞など、国際的トップレベルの賞の受賞者をふくめ、これまで数多くの著名かつ独創的な研究者を輩出してきました。あわせて、自ら開拓した新たな研究分野に挑み続ける〈革新〉の伝統はいまも息づいています。こうした学問の創造や開拓は、研究・教育への自由性が育んだ結果です。現在、計画・遂行されている新たな研究プロジェクトも数多く、学生の教育にフィードバックされる先端知も決して少なくありません。

5学系の紹介

数理科学系

高等数学の基礎を学びつつ最新の数学理論も探究する

数学は、数、図形、数量の変化などの背後にある法則の解明をめざす学問であり、永年におよぶ時間をかけて、確固とした体系を築いてきました。その一方で、現在でも多くの新しい問題が数学の内部から、あるいは物理学、地球惑星科学、化学、生物科学などの他科学から続々と生じ、それらを解明するための新たな理論が創出されています。また、普遍的な性質をもつ数学は、自然科学はもちろん、情報科学や経済学など、多くの分野とも密につながっています。これらを背景に「数理科学系」では、20世紀前半までに確立した代数学、幾何学、解析学の基礎を広く学習するとともに、最新の数学理論も探求します。

数理科学系のセミナー風景

物理科学系

理論・実験・観測を並行しながら幅広い研究と教育を展開

物理学は自然界の普遍的な法則を明らかにし、物質の種類や時間・空間・エネルギーのスケールのちがいによって生じる多様な現象を統一理解することをめざしています。これを前提に「物理科学系」は3教室に分かれています。第一教室では主に量子や物質、それらの集団を支配する物理法則を、第二教室では時空の基本構造から素粒子、原子核、重力、宇宙論までについて、宇宙物理学教室では太陽から最遠方銀河まで宇宙の多様なスケールの諸現象について、それぞれ理論、実験、観測等を並行しながら幅広い研究と教育を行っています。

3.8メートルせいめい望遠鏡（岡山県に設置）

地球惑星科学系

身近な疑問だけれど深遠で遙かな事象の教育・研究に挑む

「地球惑星科学系」は私たちが生活する地球、その地球を取り巻く惑星間の空間、これらを研究対象としています。ターゲットは幅広く、雲の動きを引き起こす大気の流れ、大量の熱を蓄えている海の流れ、地震を起こし火山をつくる地球内部の変動、オーロラをもたらす太陽からの粒子と地球磁場、ヒマラヤをつくり南米とアフリカを引き裂いたマントルの流れ、ダイヤモンドをつくり出した高温・高圧の世界、35億年前の原核生物はいかなる変遷を経て現在のように多様化したのか、ほかの惑星に生物は存在したのか（するのか）などであり、誰もが抱く身近な疑問だけれど深遠で遙かな事象に関する教育・研究に取り組みます。

観測地球物理学演習で訪れた八代海での海況観察

化学系

自然界の理解をベースに有用な新物質の創造をめざす

化学は原子・分子のレベルで物質の構造、性質、反応の本質を明らかにし、それに基づいて自然を理解しながら、有用な新物質の創造をめざす学問です。この「化学系」では原子、分子、生命から宇宙まで、自然界に存在するあらゆる物質を研究対象にしています。知的探求の場としては広大なフロンティアがあり、研究方法やスタイルも合成、分析、測定などの実験が主の分野から、理論と計算が主の分野まで、テーマ等によって大きく異なります。このように研究の対象や方法のバラエティが豊かなことも化学の大きな特徴であり、学生は個々の興味・関心や将来の目標にあわせて、自身に最適な研究分野を選べます。

化学系の実験風景

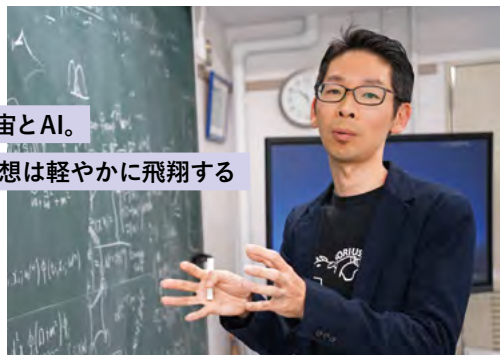
生物科学系

多様なアプローチと方法論を駆使し、生物と環境を統合的に理解する

「生物科学系」の研究対象は、地球の多様な生物の存在様式や生命現象です。マクロ的な視点からは生態学や行動学、系統分類学、人類学、自然史、野外研究などに重点をおいた研究を展開し、生物の進化や多様性の機構を明らかにします。一方、さまざまな生物のゲノムが解読されたいま、ライフサイエンスはポストゲノム時代に入り、新しい研究の方向性が求められています。ミクロ的な視点からは動物や植物の細胞生物学、発生生物学、分子生物学、構造生物学、神経生物学の独創的な研究により、多彩な生命現象を分子レベルで解明します。このようにミクロ・マクロの両視点から多様な方法論を駆使し、生物を環境と合わせて統合的に理解することをめざします。

野外実習（根子岳）

＼開いてみよう／
学問の扉



数学がつなぐ宇宙とAI。
理論物理学の発想は軽やかに飛翔する

理学部／
大学院理学研究科
橋本 幸士 教授
東大寺学園高等学校
出身

宇宙はどのように成立したのか。そんな哲学的ですらある問いに数学の力を借りて迫るのが理論物理学です。物理学は、理論と実験・観測との絶えざる対話によって発展してきた学問。アインシュタインは宇宙のほとんどの現象を説明できる方程式を発見しましたが、この方程式を一躍有名にしたのは皆既日食下での観測です。太陽光が遮られることで観測できた星の位置が従来の方程式の予測とはずれていて、どうやらアインシュタインの考えたとおり空間が曲がっているらしいとわかったのです。また、シュバルツシルトはこの方程式を解くことでブラックホールの存在を予言しました。長らく見向きもされませんでしたが、現在は観測による多数の証拠がでています。方程式を数学的に解き、観測と照らし合わせ、再び理論を修正する。その営みを繰り返しながら、宇宙の真理に迫ります。

そんな宇宙の真理がAIに潜んでいるとしたら、驚くでしょうか。観測データから推論によって法則を発見する点で、物理学とAIは似たもの同士。個別に発展した両者を融合することで、新たな道が拓けると考えています。例えば、AIの作動原理は脳神経系に着想を得たネットワーク状の数学モデルですが、じつはブラックホールの時空を表現した図ととても似ています。すると、AIを紐解くことで、宇宙の真理を解明できるかもしれない。AIが宇宙とつながっているなんて、わくわくしませんか？数学的な共通点を手掛かりに、対象や分野の違いを超えてアイデアを生み出せる。これが理論物理学の醍醐味です。

高校までの物理は教科書の内容を覚えることが中心で、みなさんはいわば、教科書のルールに従って物理学というゲームをプレイする「プレイヤー」。でも、大学では教科書は疑うべきものに変わります。教科書に載る知が生みだされるのが大学という場。ルールを鵜呑みにするのではなく、ルールを考え、作る側にまわるのです。「授業で教わった方程式のここを2乗にするとどうなるだろう」と、ゲームのバグを探すような知的探求心こそが大切。大学入学後は、ひとりの「クリエイター」として、思う存分学問を楽しんでください。

先輩が教える **京都大学の魅力**

卒業生
京都大学数理解析研究所
2019年3月
理学部数理科学系 卒業
渡辺 聡美さん
愛知県
南山高等学校女子部 出身

理学の魅力にひたった4年間。
大学でしかできない貴重な経験を

私は数学を学びたいと思って理学部に入学しましたが、1〜2年次は興味の赴くままに様々な講義を履修しました。そして数理科学系に進み、4年次の講究で学んだ確率論を今も研究しています。確率論の背景には、ミクロな世界の物理モデルや、結晶が成す複雑な形状をはじめ、自然界に広く存在するランダムな現象があります。理学は様々な領域が有機的に結びついている学問です。その魅力にひたって過ごせる4年間は、将来どんな道に進んだとしても貴重な経験になるはずです。

大学院の紹介

大学院理学研究科

自然現象を支配する
原理・法則を探究する

大学院理学研究科は、数学・数理解析、物理学・宇宙物理学、地球惑星科学、化学、生物科学の5つの専攻があります。

学部レベルでの教育理念の体現を基礎に最前線の研究現場において自然科学の進歩を担うことにより社会に貢献する「研究者の養成」を主な目的とし、講義やゼミナール等の教育とともに個々の研究現場における個別指導を重視します。さらに、広い視野を持つ人材を育てるという観点から、所属する専攻や系分野以外の科目を履修することを奨励しています。

修士課程では理学研究を遂行するのに必要な基礎知識・研究手法・問題解決能力を身につけ、博士後期課程では自ら課題を設定して研究を企画、遂行して博士学位論文としてまとめあげる能力を身につけることを教育目標としています。

卒業後の進路

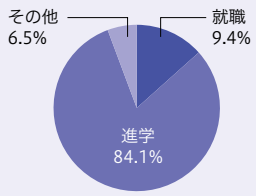
■進学　理学部では例年8割ほどの学生が本学「理学研究科」などの大学院に進学します。あわせて例年100名ほどが博士（理学）の学位を取得します。民間企業に就職するのは例年1割ほどですが、その多くが専門性を活かし、研究開発・技術職に就いています。

■就職先の例
㈱アウトソーシングテクノロジー／アクセンチュア㈱／EYストラテジー・アンド・コンサルティング㈱／㈱ウィルウェイ／㈱エヌ・ティ・ティ・データ東北／㈱カプコン／㈱SHIFT／ソフトバンク㈱／㈱ディー・エヌ・エー／トーア再保険㈱／有限責任監査法人トーマツ／㈱ニトリホールディングス／日本通信㈱／フォルシア㈱／信金中央金庫／㈱三菱UFJ銀行／三菱UFJ信託銀行㈱／㈱みずほ銀行／日本生命保険相互会社／大樹生命保険㈱／大和証券㈱／気象庁／中学校・高等学校教員／㈱秀英予備校／㈱リソー教育

■取得可能な資格　理学部は教育職員免許状の高等学校教諭一種免許状（数学・理科）と中学校教諭一種免許状（数学・理科）の課程認定を受けています。また、所定科目の修得により学芸員の資格も取得できます。なお数理科学系、物理科学系、地球惑星科学系は測量法施行令第14条第1項が規定する「相当する学科」として認定されており、所定科目の修得により測量士補の資格を取得することが可能です。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科
中学校一種……数学／理科
高等学校一種……数学／理科

2024年度 卒業生の状況



『解体新書』(複製)日本の医学史上最重要の貴重書の1つ(京都大学医学図書館 所蔵)

医学部 医学科

Faculty of Medicine

新たな知を創出する視座、事象の背後に潜む真理を見抜く眼力、感情を読み取る洞察力。厳しくも、慈愛にも満ちたそのまなざしを育むのは、自信に裏打ちされた人間力

医学部 医学科 が 望む学生像

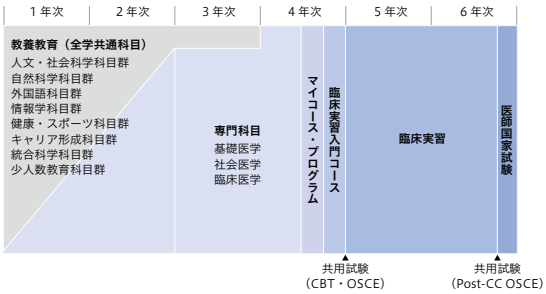
京都大学医学部は、1899(明治32)年に京都帝国大学医科大学として創立された百有余年の歴史と伝統をもつ医学部として、世界に誇る指導的な医学者、医学研究者を輩出してきました。医学部医学科は、京都大学が創立以来築いてきた自由の学風を継承し、医療の原点である「人を愛する」精神のもと、学生の自主性、自己啓発を教育の主眼として、個性豊かな創造性の涵養を目指しています。このような方針を踏まえ、世界の医学・医療の発展を担い、人類の健康と福祉に貢献できる人材を育成するために、以下のような学生の入学を期待します。

❶ 自ら課題を発掘する好奇心や探究心、それを解決しようとする主体性を持っている人
❷ 高い倫理性と豊かな人間性を備え、他者との協調性を持っている人
❸ 優れた知的能力とともに、国際的視野を持っている人

医学部医学科の特徴

1 医師や医学研究者の養成

医学科のカリキュラムは、医師や医学研究者を養成するための講義と実習などを基本とします。すべての授業が必修科目で、6年間の授業で、医学全般を学び、経験します。基礎医学では、生命科学ならびに医師に必要な解剖学・生理学・生化学・病理学・法医学などを学びます。社会健康医学では、個人に対する医療だけではない、社会全体に対する医学の応用を学びます。臨床医学は、すべての臨床医学の分野について、授業と臨床実習を通じて、基礎となる理論と実際の医療現場での活用を学びます。これらを通じて卒業認定後に、医師国家試験の受験資格が与えられます。また、MD-PhDコースなど、研究に専念することを希望する学生には、研究者になる種々の道が用意されています。



2 学生個々の資質を最大限に伸長

医学科では、個々の学生の、医師、医学研究者としての資質を最大限に伸ばし、医療や医学研究の分野で活躍できる、すぐれたリーダーを養成することを目指しています。

「医師」には専門知識の習得と同時に、その知識を論理的に使って問題を解決する能力や、病める患者さんと向き合って病気を治療する感性豊かな人間性および人間そのものに対する深い洞察力が必要とされます。また、なによりも、人びとの健康を増進し、病める者を救おうという強い情熱が必要です。一方で、病気の発生機序の解明、新しい診断法や治療法の開発などを目指す医学研究も重要です。また、医療制度が拠って立つ社会への深い理解も重要です。医学科は、このような分野ですぐれた医療人を育成することを目指しています。

「医学研究者」には、新しい知を開拓するための情熱と、卓越した能力が必要です。京都大学には、国際的にも卓抜した研究業績を有する指導者が集まっており、研究開発のできる人材を育成する環境が整えられています。

3 医学研究者を育む「MD-PhDコース」

医学科には、基礎医学研究者を育成するための道として「MD-PhDコース」が用意されており、早期に研究の機会を得ることができます。本コースには、4年次終了時点で学部を休学して大学院博士課程に進学、医学博士の学位を取得後、学部5年次に復学するコース（学部挿入型）と、学部を卒業後2年以内に大学院博士課程に進学、最短3年で医学博士の学位を取得するコース（卒後進学型）があります。

ココに注目！

個性豊かな創造性の涵養を目指して

医学科は、医療の第一線で活躍する優秀な臨床医、医療専門職とともに、次世代の医学を担う医学研究者、教育者の養成をその責務としています。

医学科が育てるのは、単に既存の知識を応用して医療にあたるだけでなく、病気など医学事象の背後にあるものを見抜き、自分の頭で考え、新たな知を創出できる人間、また、広く社会と人間行動を理解し病める人の感情を洞察できる人間、社会全体の健康を目指し高い倫理観を持って行動する人間です。

また、これを人類すべてに発信できる国際性豊かな人間を育てることも、我々の使命です。

日本・世界をリードする医師・医学研究者の養成

医学科では、日本だけでなく世界をリードする医師や医学研究者を養成すべく、6年間のカリキュラムを通じて基礎から最先端まで医学全般を広範に学びます。

基礎医学では、生命科学ならびに解剖学・生理学・病理学などを学びます。社会医学では、疫学、公衆衛生、環境、医療統計などを学びます。臨床医学では、内科学、外科学をはじめ小児科学、産婦人科学、精神医学、救急医学といったすべての臨床医学の分野について、基礎となる理論（講義）と実際の医療現場での活用（実習）を学びます。

まなびの紹介

基礎医学

医学を多角的に掘り下げる医学者・医療人を育成

入学当初は教養教育を軸とする「全学共通科目」の履修が主体となります。並行して、医療人の素養を育む取組や研究マインドを育成するチャレンジが始まります。国際的に活躍する医学者・医療人を育成するために、外国人教員による英語での生物学授業も用意されています。なお、「全学共通科目」は3年次での履修も可能で、グローバルに活躍する人材を育成するために、医学科所属の外国人教員が担当する医学関連の英語セミナー(ILASセミナー)の履修を推奨しています。基礎医学の履修は、2年次途中から本格的になり、生命科学の深淵にふれる学習を、さまざまな面から掘り下げて深めていきます。同時に、京都大学では、多くの学生がさまざまな研究室で研究に参加しています。世界的な先進的研究を行っている研究室が多く、身をもって最新の医学研究を体験できる機会となっています。このため、早い時期から海外で研究を行う学生も少なくありません。

臨床医学

的確な判断力と責任感、使命感を宿したリーダーを

臨床医学は主に3年次後半から4年次の授業で学び、5・6年次では病院での実習を行っています。京都大学では、2014年度から新しい実習カリキュラムを導入し、単に医学知識を習得するだけではなく、臨床の現場に適応し、責任をもって診療できるリーダーとしての人材を育成することを目指し、参加型に重点をおいた実習を実施しています。実習は医学部附属病院だけでなく、学外の実習病院でも行われ、そこでは第一線で医療に携わる経験豊かな医師が臨床教授として学生教育にあたり、豊富な臨床経験に基づいた少人数教育が行われます。このような密度の濃い臨床教育を通じて、最新の医療とその発展に貢献できる人材育成を目指しています。

医学部附属病院

最先端の医療を提供し、人間性豊かな医療人を育成

京都大学医学部附属病院(京大病院)は、大学病院の使命である「診療・研究・教育」に関する3つの基本理念「患者中心の開かれた病院として、安全で質の高い医療を提供する」「新しい医療の開発と実践を通して、社会に貢献する」「専門家としての責任と使命を自覚し、人間性豊かな医療人を育成する」をベースに、「安心・安全な医療の提供」に努めています。高度先進医療を担う病院として、施設設備や組織の設置を推進しており、近年では、次世代医療を開発する新組織Ki-CONNECT(次世代医療・iPS細胞治療研究センター)も稼働しました。このような、患者さんの希望となる新たな医療の開発と実践が京大病院には求められており、革新的な医療開発に取り組んでいます。一方で、高度急性期医療を担う病院として、地域医療の強化に寄与する、地域に根差した大学病院を目指し、地域の医療機関との連携を密にし、地域全体でしっかりと患者さんを支える安全で安心な医療の実現にも注力しています。これら高度先進医療と高度急性期医療を実践する病院として、人間性豊かな医療人を育成しています。

基礎医学研究者の育成

医学のさらなる発展と未来を見つめて

医学科では、基礎医学研究者を育成するためのさまざまなカリキュラムが用意されています。共通教育と専門教育が同じキャンパスで行われているという京都大学の特性を生かし、意欲のある学生は1年次から研究室に参加し研究を行うことが可能です。

●必修カリキュラム　1年次の授業は一般教養としての全学共通科目が中心ですが、医学科の基礎医学系教員もここに参画し教科書的な内容にとどまらず最先端の研究紹介や基礎研究の魅力、研究者としてのキャリアパスに関する講義が行われます。また、英語による討論や発表に重点をおいた医学・生命科学系科目も開講されています。4年次には8週間以上にわたる研究室配属が必修(マイコースプログラム)になっており、この期間に海外の大学・研究機関に留学する学生も少なくありません。さらに5、6年次の病院での臨床実習時においても一定期間の基礎医学系ラボ(海外含む)での研究が可能です。こういった体験をきっかけに、卒業後海外の大学院に進む人もいます。これらの必修カリキュラムを通じて、学部生全員が自らの研究者としての適性を理解し、その能力を伸ばすことが可能です。

●選択制カリキュラム　さらに強い興味を持つ学生には入学直後から研究に親しみ従事する機会を提供するため、選択制カリキュラムとしてMD研究者育成プログラムを運営しています。1年次前期にさまざまな基礎系ラボの研究室紹介に参加し自分の興味に合ったラボを探します。1年次後期からは実際にラボに在籍し、2年次後期までの複数ラボでの研究活動を通じて医学研究のさまざまな分野と実験手法を広く見聞・体験して、自分に合った研究分野・手法を見つけることを目標としています。3年次以降卒業までは所属ラボを1つに固定して、より本格的な研究に取り組みます。研究成果は学内のプログラムミーティングや国内外の学会で発表したり、筆頭著者として論文発表することも可能です。さらに同様のプログラムを持つ他大学との合同リトリートが開催され、全国の医学生との交流も活発に行われています。

●MD-PhDコース　MD研究者育成プログラム登録学生が、早期に基礎医学研究者の道に進むことができるコースです。4年次修了時点で学部を休学して大学院博士課程へ進学、医学博士の学位(PhD)を取得後、学部5年次に復学・学部を卒業(MD)するコース(学部挿入型)と、学部を卒業(MD)後2年以内に大学院博士課程へ進学、最短3年で医学博士の学位(PhD)を取得可能とするコース(卒後進学型)があります。

＼開いてみよう／
学問の扉

医学部に満ちる熱い気概。安心・安全な手術の実現は、挑戦からはじまる

医学部医学科／
大学院医学研究科
小濵 和貴 教授
灘高等学校 出身

京大医学部の特徴は、高い専門性を備えたあらゆる分野のスペシャリストが集うこと。そして、その誰もが、対話のチャンネルを広く開いていることです。医学の進歩はめざましく、私の大学時代と比べるといまの医学生に必要な知識量は格段に増えました。そのため、全領域の知識を身につけることはむずかしく、どうしても自分の専門領域を深めることに集中しがちになります。でも、それだけでは新しい発見は生まれません。違う専門領域や、異なる立場の人たちとの対話から得る着想こそが、新領域への扉を開きます。京大医学部には最先端の医療と知識、技術が集います。これは新しいことに貪欲で、恐れず挑戦する人がいてこそできること。「京大らしさ」に形はありません。一人ひとりが抱く「京大の姿」を実現すべく、挑戦して、努力する気概こそが、「京大らしい」活発で挑戦的な空気を生み出しているのです。

私の主宰する消化管外科学教室は、国内でいち早くロボット支援手術を導入しました。開腹手術よりもキズが小さく済み、手ぶれがないので緻密で繊細な操作が可能です。近年は、術中の手技の動画や、鉗子の操作時間などの術中のさまざまなデータを分析して活用する動きもさかんです。いかに患者さんの体への負担を減らし、安全で精緻な手術ができるか。新しい技術を積極的に取り入れて、着実に歩みを進めています。

外科医に必要なことは手先の器用さではありません。なによりのポテンシャルになるのは、体の仕組みや医学への素直な興味。人を見つめる学問を「おもしろい」と思うかどうかです。これは、ほかの診療科や基礎医学の分野を志す場合でも同じ。興味は努力する意欲につながり、努力ができればおのずと技術も身についてきます。

医師は人を相手にする仕事。患者さんはもちろん、外科医一人で手術を完結させることはできません。手術に携わる専門家全員が力を発揮してこそ、安全で確実な医療が実現できます。そこで求められるのがリーダーシップ体験の豊富さと丁寧なコミュニケーション。これを特に学生時代には磨いてほしい。知識と技術に加え、人間力というピースがぴったりとはまったとき、ひと回りもふた回りも医師として成長することができるのです。

先輩が教える 京都大学の魅力

在校生
医学部 医学科 5回生
林 璃菜子 さん
愛知県
南山高等学校女子部 出身

医学の最先端が目の前に。学ぶ意欲を高められる場所

医学を学ぶのと同時に基礎医学の研究に触れたいと思い、京都大学を志望しました。研究室主催の勉強会に参加したことをきっかけに免疫学に興味を持ち、2回生から免疫学の研究室に通っています。現在は免疫細胞の分化を制御する転写因子の機能に関する研究を進めています。京都大学は最先端の研究を身近な場所として感じられ、様々な分野で学びを深めている同期たちと切磋琢磨することができる、学びの場としてこれ以上にない環境だと思います。

大学院の紹介

大学院医学研究科

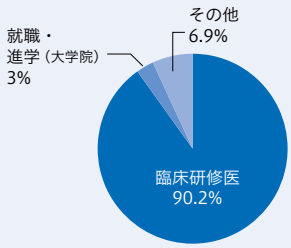
医学・医療のすべてがここに。人類の未来を育む

大学院医学研究科は、医学専攻、医科学専攻、社会健康医学系専攻、人間健康科学系専攻、京都大学・マギル大学ゲノム医学国際連携専攻の5専攻からなる、全国でも屈指の規模を誇る研究科です。中でも、医学科卒業生以外が医学を研究する医科学専攻は修業年限3年の博士後期課程を有する我が国で唯一の専攻です。医学研究科の研究領域は、基礎医学、臨床医学、社会医学、医療技術学、その他、医学・医療と人の健康と福祉にかかわるすべての領域を包含しています。本医学研究科の使命は、医学・医療にかかわる領域における「知の創造」とそのたえまない「実社会への還元」によって人類の健康と福祉の向上に貢献すること、および、その牽引力となる国際的なリーダーとなるべき人材の育成です。

卒業後の進路

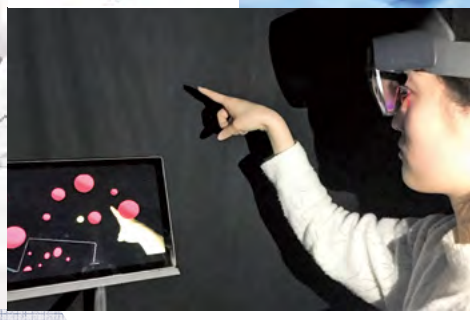
■概要　研究分野によっては大学院に進学する者もいますが、一般的には医師免許取得後、医学部附属病院あるいは研修病院において2年間の卒後臨床研修を行います。

2024 年度 卒業生の状況



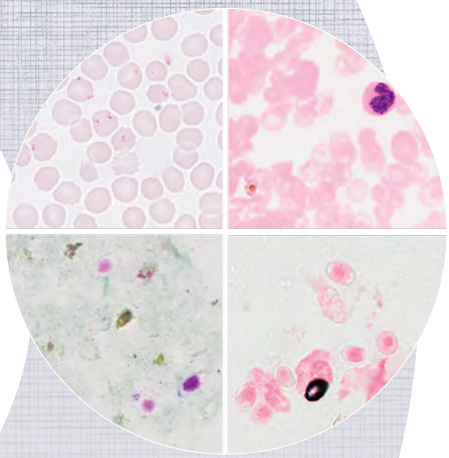
■取得可能な資格　学科の所定課程を修了し、卒業した者および卒業見込み者には、厚生労働省が実施する医師国家試験の受験資格が与えられます。

＊医師国家試験合格者
94名 93.1%



左／臨床検査実習風景、中央上／3次元CT画像群から作成された腹部臓器の形状アトラス（半透明：平均形状、メッシュ：個人の形状）、右上／家族・発達支援研究室（発達障害領域の作業療法室）、右下／MR機器を用いたリハビリテーション評価・治療

医学部
人間健康科学科
Faculty of Medicine / School of Human Health Sciences



「人の心と身体の健康を科学する」
探求心を原動力に臨機応変に問題を
解決する判断力と行動力を磨く

医学部 人間健康科学科 が 望む学生像

- 未知へと挑戦する進取の気性に富む人
- 真理を追究する情熱を持ち、豊かな人間性と高い倫理観を備えている人
- 優れた知識と技能及び思考力・判断力・表現力を持ち、自学自習のマインドをもつ人
- 協調性に優れ、周囲の人間と良好なコミュニケーションをとることができる人
- 将来、高度医療専門職、総合医療科学領域において、国内外の独創的な学術研究をリードする意欲のある人

医学部人間健康科学科の特徴

1 大学院への接続を強化した学部教育

世界レベルの研究を牽引する研究者・教育者を養成するには、大学院の充実が不可欠です。各コースの専門性を重視した大学院教育の一層の充実とともに、各コースとも大学院への接続を意識した学部での講義や、卒業研究指導を行っています。さらに京都大学医学部附属病院、iPS細胞研究所などとの横断的な連携により、医療データサイエンス、iPS細胞再生医学などの新分野での研究教育を推進します。

2 最先端の看護科学を修めた看護師・保健師の養成

「先端看護科学コース」では2年次後期から基礎看護学や地域看護学などにより、健康観や看護観を形成するための基礎的な考え方や理論を学びます。あわせて基礎看護学技術演習や基礎看護学実習で看護援助の知識や方法論を習得すると同時に、看護の臨床を経験します。3年次では発達段階や予防期からエンド・オブ・ライフ期まで幅広い健康の段階、さらに多様な療養の場に応じたアセスメント等の専門知識、援助の方法論などを専門領域に分かれて学修します。4年次では在宅と地域を対象とする実習に取り組みます。あわせて志望する研究室に所属し、教員による個別指導を受けつつ卒業研究(統合看護)を進めます。

3 先端科学の知見をもつ理学療法士・作業療法士の養成

「先端リハビリテーション科学コース」先端理学療法学講座では2年次後期に入門理学療法・作業療法などを学び、3年次前期から学ぶ専門科目の土台となる理学療法の基礎的な考え方や理論を養います。3年次後期からは臨床評価実習や臨床実習を行い、理学療法の現場を経験します。臨床実習終了後は発展臨床実習や卒業研究に取り組み、理学療法を先端科学の観点から捉え、臨床あるいは研究の場でリーダーシップを発揮できる理学療法士をめざします。

先端作業療法学講座では2年次後期に入門理学療法・作業療法などを学び、3年次前期から学ぶ専門科目の土台となる健康観や作業療法学の基礎的な考え方や理論を養います。あわせて臨床評価実習と総合臨床実習を3年次後期から4年次前期の間に行い、作業療法の現場を経験します。総合臨床実習の終了後は先端作業療法学と卒業研究に取り組み、リハビリテーションを先端科学の観点から捉え、臨床あるいは研究の場でリーダーシップを発揮できる作業療法士をめざします。

4 総合医療科学のリーダーとなる研究者・医療者の育成

「総合医療科学コース」では、2年次後期からの総合基礎科目と総合専門科目の履修により、医学・医療の基礎知識に高度な専門知識を重ね、先端医療技術の開発や近未来の医療ニーズに対応できる能力を身につけます。3年次後期からは総合医療科学の各専門性に応じた基礎系医療科学、臨床系医療科学、理工系医療科学の各講座を構成する研究室、あるいは協力研究室に所属して、4年次からは本格的に卒業研究を進め、自ら見つけた課題を自ら解決する能力を養います。また、医学・医科学専攻、京都大学医学部附属病院、iPS細胞研究所、医生物学研究所などに所属する協力講座を選択することも可能です。なお「総合医療科学コース」では所定の科目を選択して単位を修得することにより、臨床検査技師の国家試験受験資格が与えられます。

ココに注目!

人間の健康を科学し実践する人を育む

人間健康科学科は「健康について科学する」を教育の中心に定め、健康科学に関する幅広い知識をベースに、世界トップレベルの先端医療技術の研究・開発と、臨床フィールドでの実践において、世界を牽引しグローバルに活躍できる人を育成します。

新たな医療ニーズに応えられる研究者の育成

医学・医療に関わる基礎から先進的な医療技術を理解すると同時に、薬学、医工学、情報学など、周辺科学領域に係る高い専門性を身につけることで、先端医療技術の開発や近未来社会の医療ニーズに応えられる世界レベルの研究を牽引する研究者の育成をめざします。

高度医療専門職リーダーの育成

先端看護科学コース、先端リハビリテーション科学コース、総合医療科学コース内の臨床検査プログラムでは、学部・大学院の接続を強化した教育により、高い研究能力と専門性を有した将来リーダーとなりうる高度医療専門職(看護師、助産師、保健師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師)を育成します。それぞれの専門職養成プログラムには定員があり、選抜が行われることがあります。

実力を高める科目構成と自由なコース選択

一般入試で入学した学生は、入学後 1 年半は、「全学共通科目」で教養を育み、「専門基礎科目」で、医学・医療に関する共通の基礎教育を受けます。そして2年次後期から、各自の希望や適性に基づいて3つのコース(先端看護科学コース、先端リハビリテーション科学コース、総合医療科学コース)のいずれかに進み、各コースの「専門科目」で専門知識を学びます。これにより、ベースとなる医学・医療教育の拡充と、各専門性を見極めた選択が可能になります。

＊特色入試で入学した学生は、入学時に希望したコースに進みます。

3コースの紹介

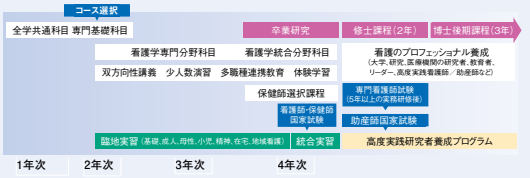
先端看護科学コース

看護学の対象は、あらゆるライフサイクルの個人や家族はもとより、地域や国際社会に広がっています。また、病いと共に生きる人々だけでなく、疾病の予防や健康増進をふくめ、あらゆる健康レベルの人々に関わります。そのため先端看護科学コースでは、既成の枠にとらわれない新しい発想の教育・研究を通じて、新たな領域を開拓していくことをめざします。次の3講座があり、国際的に活躍するリーダー育成を念頭に、大学院進学を推奨しています。

●先端基盤看護科学講座　質の高い看護実践の基盤となる領域を取り扱う講座です。生体リズムに基づき人々の健康を支える生活環境の調整方法、在宅医療の諸問題及び認知症の病態解明や生活習慣や生活環境への介入法、また、データ主導型個別化医療と予測医療を実現するためのシミュレーション科学とデータ科学の開拓、併せて、より良い患者-医療者関係に基づく倫理的看護実践の方策等について考察し、Evidence Based Nursing：EBNに資する能力を身につけた看護師／研究者の養成を目指します。

●先端中核看護科学講座　人の健康は身体的・精神的・社会的・スピリチュアルなどの要因によって形成されているとの視座に立ち、成人・高齢者の心身の健康問題を扱い、専門的な視点からアセスメントする方法や援助技術の開発・教育・研究を行う講座です。慢性疾患を持つ人々や、生命の危機的状態にある患者、精神障がい者、緩和ケアを必要とする人々とその家族が、病と共に自分らしく生きるための苦痛緩和へのアプローチと、QOLの維持向上を中心に据え、人の根源的な苦悩に目を向けて支援システムの開発・教育・研究に取り組んでいます。大学院では高度実践研究者養成プログラム専門看護師課程にて、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、精神看護がん看護の専門看護師を養成しています。

●先端広域看護科学講座　本講座は、小児看護学、周産期疫学、地域健康創造看護学の3分野で構成されます。対象・時間・エリアの広域性をもって、子ども・妊産婦とその家族や地域に暮らすすべての人々があらゆる成長・発達段階において健康でwell-beingに生きるための看護を教育・研究しています。また、ケアの有効性と安全性に関するエビデンスを構築し、多様な場においてニーズにあったケアを創造できる人材の育成を目指しています。周産期疫学分野では助産師課程（修士）を、地域看護学分野では保健師課程を担当し、学生が多様な未来を実現するサポートをしています。



先端リハビリテーション科学コース

先端理学療法学講座

理学療法は日常生活に必要な基本動作能力に障がいがある人々、または障がいを引き起こす可能性のある人々が社会生活に適応するために必要な援助・治療技術を提供する実践科学であり、それらの技術を提供する医療専門職が理学療法士です。少子高齢化が進む今日、理学療法士の職域は医療機関だけでなく、地域における保健・福祉の分野にも広がっています。

そのため理学療法士には、医療・保健・福祉を横断する専門職にふさわしいバランス感覚が求められています。また、自由裁量に基づく判断と行動が必要とされる理学療法士には、専門的な知識や技術を習得するだけでなく、科学的根拠に基づいて行動し、問題を解決する能力と豊かな人間性が不可欠です。先端リハビリテーション科学コースでは、こうした社会的ニーズに応えられる高度医療専門職としての理学療法士の育成に向けた教育を行うと共に、日本と世界の理学療法を牽引できるリーダーおよび研究者の養成をめざし、先端理学療法学講座を設置しています。

●先端理学療法学講座　京都大学医学部附属病院で最先端医療にふれながら行う臨床教育を通じ、科学的な根拠のある医療（Evidence Based Medicine：EBM）に基づく判断力と柔軟な対応能力を養います。また、基礎教育科目や卒業研究などを通じ、科学的な思考力と実践的な問題解決能力を養います。これらのカリキュラム設定は大学院への接続を意識しており、大学院に進学することで、さらに理学療法領域のリーダーをめざした研究に取り組むことができます。そうした道を歩んだ卒業生も数多く、大学病院や臨床中核病院などの理学療法士としてはもちろん、大学の教員・研究員として活躍し、世界的に注目されている人材も少なくありません。

先端作業療法学講座

日々の暮らしは、着替えや食事などの日常生活を維持する活動、職業や家事・育児・学業などの仕事に関する活動、遊びや余暇活動、これらによって営まれています。疾病や障がいは生活に支障をもたらすことがありますが、これらの活動のありようによって個人の生活の質、健康な生活、社会参加の内容が大きく変わります。先端作業療法学講座では、障がいの予防・改善を先端リハビリテーション科学によって担う高度医療専門職としての作業療法士の育成に向けた臨床教育を行うと共に、日本と世界の作業療法を牽引できるリーダーおよび研究者の養成をめざしています。

●先端作業療法学講座　生活を科学する作業療法は「適応の科学」と言われ、病や障がいにより日々の暮らしに支障を来している人々へ、自律した生活に適応できる能力の発達・回復・開発・維持を援助します。生活への適応困難は、生理機能、運動機能、認知機能、社会的機能などの要因のいずれか、もしくは複数の要因が重なって生じます。そうした問題を分析でき、対策を立案できる作業療法士の育成のため、先端作業療法学講座では、適応機能の改善・回復を効果的に実践するための作業活動の特性を学び、対象者個々のニーズにあわせた作業を段階づける知識・技術を獲得すると共に、作業分析法、評価法、援助法などを身につけていきます。また、作業療法は高度先進医療を補完する治療・援助技法としても注目されており、先端作業療法学講座が進める研究成果を臨床で実践する人材の育成もめざしています。さらに大学院（医学研究科人間健康科学系専攻）では脳波、経頭蓋磁気刺激法、近赤外線分光法、自律神経機能測定、神経心理学的検査などの手法で得られる客観的指標を研究に取り組み、京都大学医学部附属病院と連携しながら、高度な臨床専門職と教育・研究職を養成しています。

総合医療科学コース

総合医療科学コースは、専門に応じて以下の3つの講座で構成されています。3年次後期からは研究室に所属し、4年次からは本格的に卒業研究に取り組みます。

●基礎系医療科学講座　病気を理解するためには生命の基本原理を知り、生命を統合的に把握する力が必要です。これを念頭に基礎系医療科学講座ではヒト疾患の原因や病態を学び、治療の予後予測に必要不可欠な生体情報を多角的に解析しつつ全体を俯瞰できる総合的医療研究者の育成をめざします。あわせてヒトをふくむ生命と生物原理を理解し、現代医療の多様な問題を解決できる研究者・教育者の育成もめざします。

●臨床系医療科学講座　生体から得た情報を臨床の診断や治療に応用すること、移植医療・再生医療・遺伝子治療などの先進医療技術の展開に寄与すること、これらを目的に、その基礎となる理論や技術に関する教育・研究を行います。あわせて臨床の多様な問題の解決に向けて、積極的・機動的に対応できる能力を備えた人材の育成をめざします。

●理工系医療科学講座　先進医療を支える生体医療情報解析や医療画像診断の技術を進化させるには、医学・理学・工学の融合分野の研究を牽引する人材が必要です。そのため理工系医療科学講座では医療系の大学では他に先駆けて推進してきた本格的な情報理工学の研究・教育をベースに、先端医療機器システムや医療・介護支援技術の開発など、近未来の社会が医学・医療に求める多様な分野において、グローバルに活躍できる人材の育成をめざします。

また、総合医療科学コースでは、医学・医科学専攻、京都大学医学部附属病院、iPS細胞研究所、医生物学研究所などとの横断的な連携を積極的に行い、データサイエンス、iPS細胞再生医学、医療デジタルトランスフォーメーションなど、医学領域における新分野での研究教育を推進しています。

\ 開いてみよう /
学問の扉

心肺蘇生のスキルを身につけた人を増やして、心停止患者さんとその家族を救いたい!

医学部人間健康科学科／大学院医学研究科
西山 知佳 准教授
京都聖母学院高等学校 出身

日本では、年間約8万人もの人が突然の心停止で倒れています。みなさんの身近な人が、いつ、どこで、心停止で倒れても不思議ではありません。そんな時、その場に偶然居合わせた人が、胸骨圧迫を行うとその人の救命率は約2倍に、AEDを使うとさらに2倍に高まります。しかし胸骨圧迫は心停止になった人の約半分、AEDは約5%しか使われないため救命率は10%にも達していません。そこで私は疫学研究を行い、心肺蘇生のスキルを身につけた市民を増やすために教育プログラムの開発に力を入れています。

私にとって思い入れがある研究は、胸骨圧迫とAEDの使い方に内容を絞った45分間の教育プログラムを開発したことです。以前は人工呼吸を含めた3時間の教育プログラムが標準的でした。しかし、心停止で倒れた人に対して、市民が胸骨圧迫のみを行った場合と、胸骨圧迫に加えて人工呼吸を行った場合とを比較すると、前者の方が救命率が高いというエビデンスが複数の疫学研究で提示されました。そこで私は胸骨圧迫とAEDのみに内容を絞ったプログラムを開発し、その有効性を示しました。現在、消防機関や日本赤十字社などが行う市民向け心肺蘇生講習会にこの教育プログラムが含まれ、市民に広く指導されています。こういう経験があるので、私は「学問で社会は変えられる」と実感をもって言えたりします。

さらにこの教育プログラムは京都大学でも実施しています。新入生ガイダンスの一環として、毎年全学部の新入生約3,000人に胸骨圧迫とAEDの使い方を学んでもらっています。2023年5月、この講習を受講した学生2名が、路上で倒れていた男性に遭遇し、救急隊員が到着するまでの間、胸骨圧迫を続け男性を救命しました。私の研究生活で最も感動した出来事の一つです。

いつでも、どこでも胸骨圧迫とAEDの使い方が学べるオンラインアプリも開発しました。講習を受けても時間が経つとその手順を忘れてしまいますが、再講習のために会場に出向く手間や時間調整などがネックになります。そこで胸骨圧迫とAEDの使い方を学べる無料のオンラインアプリ(救命コーチングアプリLiv)を(公財)日本AED財団と一緒に開発しました。二次元バーコードからアクセスして一度体験してみてください。

心肺蘇生のことばかり述べてきましたが、担当している高度医療看護論では、例えば再生医療、臓器移植、災害医療、治験など京都大学だからこそ学べる内容を取り揃えています。研究や臨床の最前線に立つ教員と接する機会を生かして、貪欲に学んでほしいと思います。

先輩が教える 京都大学の魅力

卒業生
社会医療法人寿会 富永病院
2021年3月 医学部人間健康科学科(先端リハビリテーション科学コース 作業療法学講座) 卒業
小川 明莉 さん
愛知県 愛知県立明和高等学校 出身

仕事に必要な知識の獲得はもちろん、先進的な研究に触れられるのが魅力

私は医療職に就きたいと思い人間健康科学に入学しました。本学科は各分野の先生方から講義を受けた上で専攻を決めるため、自分がやりたいことをじっくり決めることができることが魅力でした。現在は作業療法士として勤務していますが、学部と大学院では臨床的な知識に加え、先進的な研究を学べたことが今の仕事に活かされていると感じます。

大学院の紹介

大学院医学研究科

世界をリードする医療人・医学研究者を育成する

人間健康科学系専攻は、①高度先進医療の発展に不可欠な高度医療専門職としての看護師・保健師・助産師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、医学物理士の養成、②高度先進医療を受けた本人とその家族、また高齢者に対して、効果的かつ質の高い生活支援を提供できる人材の輩出、③新しい保健医療福祉システムの構築に寄与しうる高度でかつ学際的、革新的な教育者・研究者の育成をめざしています。

大学院入学者は、学部からの進学が多数を占めていますが、保健医療福祉の分野で一定の実務経験を有する者も含まれます。

大学院修了後は、保健、医療、福祉の現場に再び就職し、高度医療専門職として活躍するだけでなく、在学中に培った健康科学に関わる専門的な知識、技能を活かして多様で幅広い分野に進出し、社会貢献に寄与することが期待されています。

卒業後の進路

■概要

先端看護科学コース　医療機関(病院・保健所・市町村・企業内健康管理部門など)や官公庁、医療関連企業、教育研究機関への就職が多く、大学院進学者は例年20%前後です。

総合医療科学コース　例年70～80%が大学院に進学し、就職先としては医療機関(病院・診療所・保健所など)や教育研究機関の他、製薬等企業・研究所、医療機器メーカー、臨床検査センター、高度先進医療関連施設、科学捜査研究所、医療・保健行政など、多岐にわたります。

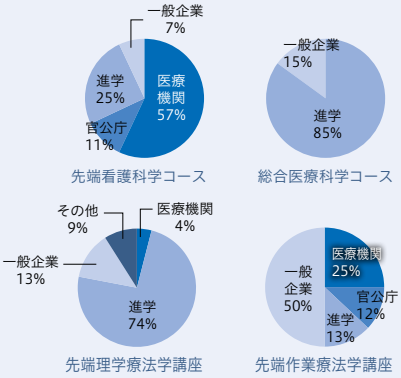
先端理学療法学講座　例年70%近くが大学院に進学し、他は医療機関(大学病院・リハビリテーション専門病院・一般病院)や行政機関、教育機関、医療関連企業などに就職します。

先端作業療法学講座　リハビリテーションセンター、国公立病院、私立病院、老人保健施設、児童福祉施設、医療関連企業、行政機関などへの就職が多く、大学院進学者は例年40%前後です。

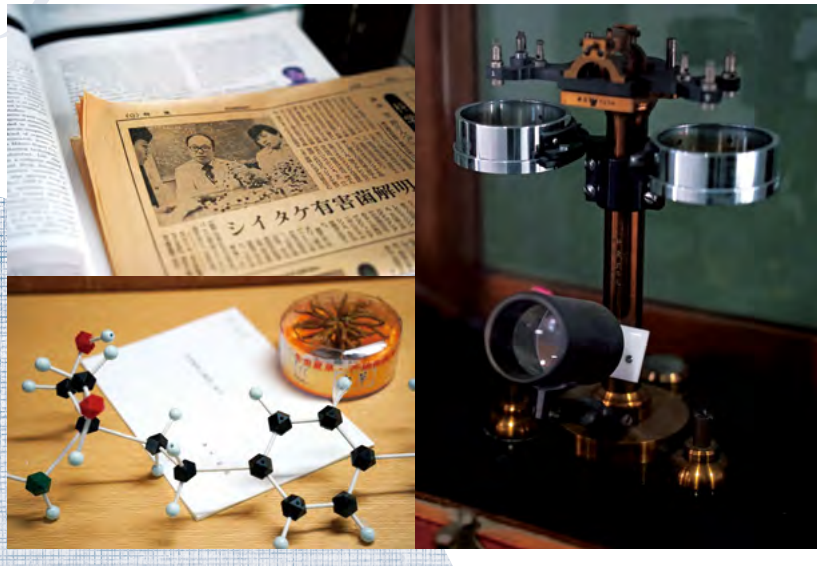
■取得可能な資格　人間健康科学科の所定の課程を修了し、卒業した者および卒業見込み者は、厚生労働省が実施する次の国家試験の受験資格が与えられます。

先端看護科学コース……看護師／保健師(選択制)
先端リハビリテーション科学コース(先端理学療法学講座)……理学療法士
先端リハビリテーション科学コース(先端作業療法学講座)……作業療法士
総合医療科学コース……臨床検査技師(選択制)

2024年度 卒業生の状況



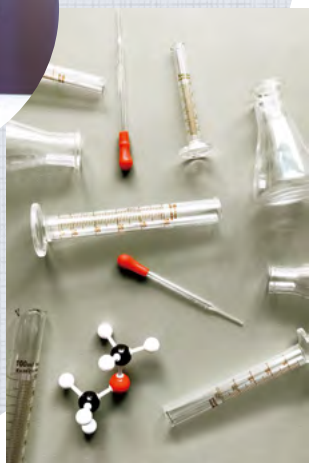
左上下／多発性硬化症治療薬開発に功績のあった藤多哲郎名誉教授の展示（藤多記念ホール）　右／薬学部所蔵の天秤。感量50分の1ミリグラム秤量20グラムの刻字あり



薬学部

Faculty of Pharmaceutical Sciences

- 薬科学科［4年制］
- 薬学科［6年制］



独創的・先導的な創薬研究と高度医療を支える臨床薬学。それぞれのプロフェッショナルをめざして、生体の謎に迫り、自然の理に目を凝らす

薬学部が望む学生像

京都大学・薬学部は総合科学としての薬学の基礎体系を習得し、創薬と臨床薬学に関わる研究者、教育者、技術者、薬剤師を育成することを目標とし、次のような学生を求めています。

❶ **薬科学科［4年制］の使命は医薬品の創製です。自ら考え、主体的に知識を広げて探求するなど、医薬品を創造するための素質と豊かな心をもつ人を求めています。**

❷ **薬学科［6年制］の使命は最適な薬物治療の実現です。医療の進歩と発展を担うための向上心、探求心、そして行動力をもち続けられる人を求めています。**

両学科とも卒業後は大学院博士（後期）課程に進学して、トップレベルの薬学領域でグローバルに活躍したいと考えている人を特に求めています。

薬学部の特徴

1 高度な基礎科学力と薬学的応用力の養成

医薬品は、人体に働きその機能を調節することによって疾病の予防・治癒、健康の増進をもたらす物質です。薬学は、この医薬品を創製、生産し、適正に使用することをめざす総合科学であり、物理学、化学、生物学の多岐にわたる基礎科学に立脚しています。京都大学薬学部では、薬学の基礎体系となる学問を徹底的に学び、知識や技能を統合して薬学的に応用する能力を身につけます。

2 主体的な学びと高いコミュニケーション能力の養成

創薬、医療のいずれにおいても、現場での潜在的な問題を発見し、課題を設定して解決に導くプロセスが必要です。これを実践するためには、主体的かつ論理的に考えて行動する能力が求められます。さらに、チームの能力を高めるためのリーダーシップやコミュニケーション能力を身につけることも重要です。薬学部では、初年次から能動学習や少人数学習を積極的に授業の中に取り入れて、これらの能力を養う教育を行っています。

3 ミスマッチの少ない柔軟なキャリアパスの選択

京都大学薬学部は、レイト・スペシャリゼーション(専門の晩成化)に基づき、4年次に学科の振分けを行います。すなわち、3年次までに一般教養教育や薬学専門教育を受け、さまざまな角度から薬学についての理解を深め、少しずつ将来のイメージを固めていきます。創薬あるいは臨床薬学のプロフェッショナルになるかを考えて、4年進級時に希望と成績により学科振分けを実施します。

京都大学薬学部をもっと知りたい方に……

■京都大学薬学部・薬学研究科
入学ガイドブック

ココに注目！

薬の創造と適正使用のための学びの場

人類の健康に大きく貢献する薬は、現代社会に不可欠です。京都大学の薬学部は、そうした薬を創造・創製し、適正に使用するための学問を行う場です。また、薬の開発は先端的な科学と技術の融合によって成り立っており、京都大学の薬学部では化学系、物理系、生物系、医療系などの幅広い専門知識と医療人としての心を学び、社会に貢献することをめざします。

約80年の歴史をもつ薬学の教育・研究

京都大学における薬学教育・研究は1939年、医学部薬学科の設置とともに始まりました。さらに、発足時の薬品製造学と薬品分析化学に加え生命科学系の講座等も設置され、総合科学としての薬学の教育・研究体制を整えて、1960年に薬学部として独立しました。その後も、医薬品への社会的な期待を背に、次世代の創薬・医療の羅針盤となる薬学の教育・研究体系を追い求めながら常に発展を続けています。

目的別に4年制と6年制の2学科を設置
(4年次に学科振分け)

薬学領域は近年の生命科学の進歩と医療の高度化にあわせ、新しい概念に基づく医薬品の創製・発展と医療への貢献に対応できる教育が求められています。世界中の多くの人を救うために医薬品の創製や生産を担う創薬科学研究者・技術者を養成する4年制の「薬科学科」、先端医療や高度医療を支える臨床薬剤師や臨床薬学の研究者・技術者を養成する6年制の「薬学科」、2学科それぞれの目的に則した人材育成を進めています。
※学科振分けは4年次進級時に行われます。

創薬・臨床薬学研究のトップリーダー

多くの学生は学部卒業後、大学院薬学研究科に進学します。薬科学科卒業生に向けた薬科学専攻(修士2年制、博士後期3年制)と創発医薬科学専攻(一貫制博士5年制)、薬学科卒業生に向けた薬学専攻(博士4年制課程)を設置し、研究能力を高める体制を整えています。薬学領域では、グローバルに活躍できる多くの博士人材の育成が社会から求められており、先端科学研究と社会貢献というトップリーダーに課せられた使命の遂行に努めています。

学科の紹介

薬科学科[4年制]

独創的・先導的な創薬研究のプロフェッショナルを養成する

医薬品の設計・合成や生体分子との相互作用に関わる諸問題に対峙し、構造・機能や作用・動態などの側面から研究する総合科学としての薬科学について、その基礎と応用に関する知識と技術を学びます。あわせて4年次には希望する研究室に所属し、最先端研究にふれる特別実習に取り組みます。養成をめざすのは創薬科学の研究者や技術者です。また、さらに広い視野に立脚し、専門知識を深めながら研究能力を養うことを目的に、大学院(修士課程・博士後期課程／計5年間、一貫制博士課程／5年間)に進学する卒業生が多いのも薬科学科[4年制]の特徴のひとつです。

薬学科[6年制]

高度医療を支える臨床薬学のプロフェッショナルを養成する

医薬品の適正使用を目的とした総合科学としての薬学にアプローチ、その基礎と応用に関する知識と技術を臨床に則して学びます。4・5・6年次には特別実習、病院実習、調剤薬局実習に取り組みます。養成をめざすのは臨床薬学の研究者・技術者や高度医療を支える薬剤師です(卒業時に薬剤師国家試験受験資格を取得)。また、さらに広い視野に立脚し、専門知識を深めながら研究能力を養うことを目的に、大学院(博士課程 / 4年間)に進学することも可能です。

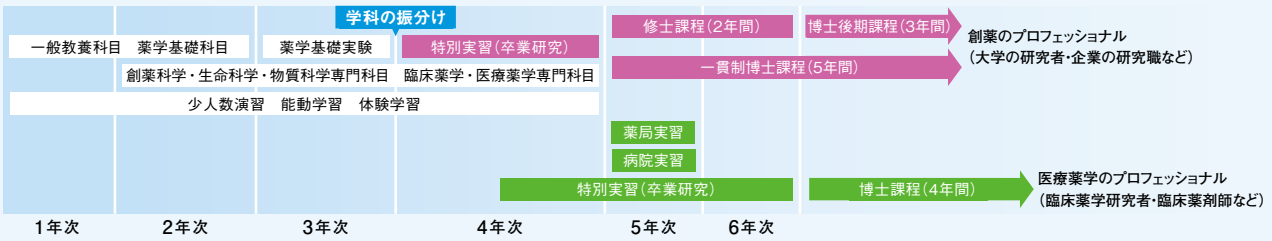
薬学部の教育課程

■ 薬科学科[4年制] 主目的
創薬のプロフェッショナル養成
※薬科学科卒業生には薬剤師国家試験受験資格は与えられません。

■ 薬学科[6年制] 主目的
臨床薬学のプロフェッショナル養成
※薬学科を卒業すれば、薬剤師国家試験受験資格が与えられます。

カリキュラム

■ 薬科学科〈4年制〉主目的 / 創薬のプロフェッショナル養成(H30年度入学者からは、薬科学科卒業生に対しては、薬剤師国家試験受験資格は与えられません。)
■ 薬　学　科〈6年制〉主目的 / 医療薬学のプロフェッショナル養成(薬学科を卒業すれば、薬剤師国家試験受験資格が与えられます。)



1・2年次

入学当初1年間は外国語を含む教養教育を軸とする全学共通科目を主に履修します。その目的は幅広い分野の学問にふれながら豊かな教養を身につけると共に、高度な専門科目を学ぶための基礎学力と思考力を養うことです。あわせて「薬の世界」入門、基礎物理化学、基礎有機化学などの専門基礎教育、薬学研究SGD※演習などの能動型演習科目、基礎化学実験などの基礎実験科目も履修します。2年次では全学共通科目と専門基礎教育科目の科学コミュニケーションの基礎と実践を履修する他、専門教育の科目も履修し、各自の興味、適性、将来展望に応じて、ゆるやかな専門化をめざします。

※Small Group Discussion

3年次

薬学の専門知識・実験技術を学ぶための専門教育科目を主に履修します。大学院に連結する高度な専門知識を学ぶ研究基盤教育科目の一部も学びます。また、専門実習はすべて必修科目になっており、薬学のあらゆる専門分野に関する実験技術を習得します。3年次までの学修を通じて、学科および配属研究室を選択し、各自の希望と成績によってそれらが決定されます。

4年次〈薬科学科〉

ほぼ1年間、特別実習を行います。この特別実習では研究室に所属し、教員の指導・助言を受けながら特定の専門領域に関する研究に取り組みます。学生はその過程から創薬科学研究の現況を知り、歩み始めようとする研究者の道を模索します。

4・5・6年次〈薬学科〉

4年次前期は主に午前は講義、午後は医療薬学ワークショップに取り組み、医療薬学分野の全体像を理解します。4年次後期に始まる特別実習は6年次まで続きます。この特別実習では研究室に所属し、教員の指導・助言を受けながら特定の専門領域に関する研究に取り組みます。学生はその過程から医療薬学研究の現況を知り、自身が歩む臨床薬学研究者・薬剤師としての方向性を模索します。あわせて5年次には京都大学医学部附属病院薬剤部と学外の調剤薬局で5か月間の実務実習を行います。この実習では医療における薬剤師の役割と職能を理解するとともに、薬剤業務を実践的に学びます。

\ 開いてみよう /
学問の扉

生きものの洪大な潜在力から「薬のタネ」を見つけだす。新たなサイエンスを切り拓くのは、オリジナリティ

薬学部／
大学院薬学研究科
掛谷 秀昭 教授
岡山県立井原高等学校 出身

私たちが利用する医薬品のうち約50%は、植物や微生物などの天然資源由来の化合物から創られています。私たちのグループは、自然に学び創薬にいかす天然物薬学と、化学を起点に生物学の謎を解くケミカルバイオロジーを基盤に、新薬につながる「薬のタネ」を探し求めています。

とりわけ大きな可能性を秘めるのが微生物。結核の代表的な抗生物質ストレプトマイシンは、放線菌がつくる化合物からできています。ほかにも微生物由来の薬はたくさんありますが、現在の手法では、実験室で培養できる微生物は自然界の土壌中のたった1%。さらに、化合物は微生物がもつ遺伝子から作られますが、約2割しか創薬に利用できていません。残り8割は、実験室レベルの培養では活性化されないもの。この〈眠っている遺伝子〉を活性化できれば、もっともっと多くのタネに出会えるはず。これまでだれも見たことのない化合物の〈顔(化学構造)〉を、世界ではじめて発見し命名する喜びは最大のモチベーション。眠っている遺伝子をいかに活性化するか、学生たちとともにワクワクしながら取り組んでいます。

私の信条は「オリジナリティを大切にしながら、先頭を走る」。新しい物質を見つけることだけが、新たなサイエンスの扉を開くのではありません。既知の物質であっても、再発見した過程が違えばメカニズムも違います。普通なら「ふりだしに戻る」結果ですが、それを私たちならではの評価方法で眺めて、戦略を生み出し、メカニズムが解明できれば、そこに新しいサイエンスが生まれます。オリジナルの〈味つけ〉しだいで質の高い大発見となりうるのです。こうした研究が生命現象の理解にもつながり、医療や生命科学の発展への貢献が期待されることもケミカルバイオロジーの魅力です。

京大薬学部には、学生が「やってみたい！」と思うことならすべて挑戦できるほどの環境・設備が整っています。なんでもできるからこそ重要なのは、どんなことをやってみたいのかという好奇心とアイデア力。薬学部ならではの幅広い領域の知識を身につけつつ、専門性に磨きをかけて、遊び心とオリジナリティを発揮して、サイエンスの最前線を走る意欲に溢れた学生に期待しています。

先輩が教える 京都大学の魅力

在校生
薬学部 薬学科 4回生
西田 莉咲 さん
三重県
三重県立四日市高等学校 出身

〈創〉と〈療〉の二刀流を目指して!

京都大学薬学部では4年次に学科配属が決まるため、大学で学んだ経験をもとに自分の進路を決めることができます。私は、実情に即した内容で薬について学び、臨床現場での薬の在り方を自分の目で見て確かめ、そこで生まれた課題を薬の研究に活かしたいと考えたため、薬剤師資格を取得できる薬学科を選択しました。〈創薬研究〉や〈医療研究〉のために必要な知識、実験技術、手技技法を深く学び、自分のキャリアデザインを主体的に描ける点が魅力だと感じています！

大学院の紹介

大学院薬学研究科

薬学研究者への第一歩

薬学は、人体に働きその機能の調節等を介して疾病の治癒、健康の増進をもたらす「医薬品」の創製、生産、適正な使用を目標とする総合科学です。

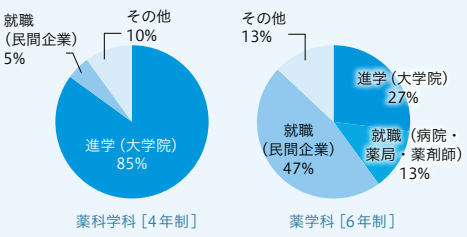
京都大学薬学研究科は、諸学問領域の統合と演繹を通じて世界に例を見ない創造的な薬学の“創”と“療”の拠点を構築して、生命倫理を基盤に独創的な創薬研究を行うことのできる資質と能力を有する研究者の育成と先端的創薬科学・医療薬学研究の遂行を通して社会の発展に貢献することを目標としています。

卒業後の進路

薬科学科[4年制]
■概要　卒業生のうち、8割以上が修士課程(一貫制博士課程等を含む)へ進学し、修士課程を修了した学生の3〜4割が博士後期課程に進学します。修士課程修了者は約6〜7割が製薬会社などに専門性を活かして就職するほか、幅広い分野の企業にも就職します。博士後期課程修了者の就職先も修士課程と同様ですが、国内外の研究機関や国公私立大学にも就職するのが特徴です。
■就職先の例(修士課程修了者)　中外製薬㈱／大塚製薬㈱／塩野義製薬㈱／シミック㈱／第一三共㈱ など

薬学科[6年制]
■概要　卒業生のうち、2〜3割が博士課程に進学します。学部卒業生はその多くが製薬会社などに専門性を活かして就職するほか、1〜3割が薬剤師として医療機関に就職します。4年間の博士課程修了者の就職先も学部卒業生と同様ですが、国内外の研究機関や国公私立大学にも就職するのが特徴です。
■取得可能な資格　薬学科(6年制)の卒業見込みの者および卒業生には、薬剤師国家試験の受験資格が与えられます。
■就職先の例　京都大学医学部附属病院／小野薬品工業㈱／あすか製薬㈱／第一三共㈱　など

2024年度 卒業生の状況

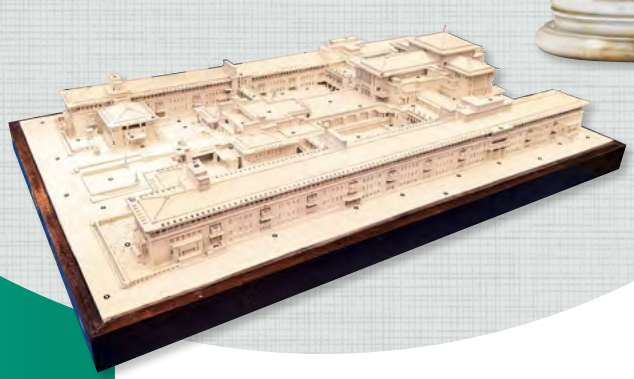


卒業設計模型

工学部

Faculty of ENGINEERING

- 地球工学科
- 電気電子工学科
- 建築学科
- 情報学科
- 物理工学科
- 理工化学科



学理をしっかり体得し、自身の目で確かめて、
納得ゆくまで突き詰める。
強固な土台の上にこそ独創性は華ひらく

工学部が望む学生像

●高等学校での学習内容をよく理解して、工学部での基礎学理の教育を受けるのに十分な能力を有している人。
●既成概念にとらわれず、得られた情報や知識を自分自身の目でしっかりと確かめ、整理統合し論理的に考察することによって、物事の本質を理解しようとする人。
●日本語・外国語を問わず、自らの意見や主張をわかりやすく発信する能力を身に着けるために必須の基礎的な言語能力とコミュニケーション能力を持った人。
●強固な責任感と高い倫理観を持ち、創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲に満ちた人。

工学部の特徴

1 伸び幅のある思考力と実践力の養成

京都大学の工学部は、学生が特定分野の専門知識を修得するだけでなく、幅広い視点から科学・技術の発展を見通し、新たなフィールドを開拓・創造していける人材を育てたいと考えています。そのため6学科すべてにおいて基礎教育を重視し、伸び幅のある思考力と実践力を養います。

2 柔軟な創造力を育む柔軟な学び

地球工学科、建築学科、物理工学科、電気電子工学科、情報学科、理工化学科、それぞれが育成をめざす研究・開発・技術系人材には、柔軟な創造力が必要不可欠です。それを前提に各学科がカリキュラムに共通性や相互の融通性をもたせ、幅広く柔軟な学習ができるようにしています。あわせて必要に応じ、他学科や他学部の専門科目が履修できるようにもしています。

3 全学共通科目の履修に注力

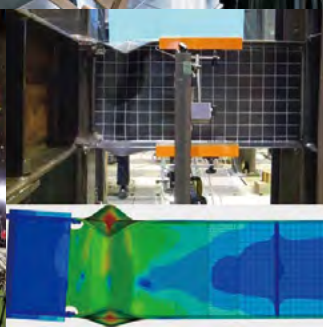
京都大学の工学部では1年次から2年次にかけて、教養教育を軸とする「全学共通科目」を主に学びます。この全学共通科目には、人文・社会科学科目群、自然科学科目群、外国語科目群、情報学科目群、健康・スポーツ科目群、キャリア形成科目群、統合科学科目群、少人数教育科目群などの多様な科目があります。こうした2年間により、高度な専門分野を学ぶための基礎を養うとともに、幅広い学問にふれることで豊かな教養を身につけ、人としての視野を広げます。

4 高度な専門科目への段階的な移行

京都大学の工学部では概ね全学科が1年次から専門基礎科目を学び始め、2年次では同科目の履修が主になります。あわせて2年次から専門科目を学び始め、3年次では同科目の履修が主になります。こうして段階的に、学びを高度な専門科目に移行することで、強固な基礎を柔軟に応用するための知力・能力を着実に培います。

5 卒業に向けた創造的な研究活動

4年次で行う「特別研究（卒業研究）」では、担当教員の指導・助言を受けながら各自が定めたテーマに関する専門的な研究に取組み、その結果を学士論文にまとめます。この間、学生は各研究室に所属し、教員や大学院生を交えた議論を重ねつつ、創造的な研究活動を体得します。



ココに注目！

地球社会の永続的な発展を担う

学問の本質は〈真理〉の探究です。そうした学問領域のひとつである工学は、人びとの生活に深く関わるテーマを扱っており、地球や社会の持続可能な発展や文化・文明の創造という人類の課題に責任を負っています。京都大学の工学部は、こうした考え方に立脚した教育・研究を行っており、確かな基礎学力、高度な専門能力、正しい倫理観、豊かな個性、これらを兼ね備えた人材の育成をめざしています。

自由の学風と学問の基礎を重視

京都大学が誇る〈自由の学風〉は、既成概念や他者の言動にとらわれず、あらゆる事象の本質を自分自身の耳目手足で確かめ、科学的に理解することに基づいています。そのため京都大学工学部では、ともに学ぶ研究者や学生に自身を律する厳しさを求めています。また、工学は応用を主にすると思われがちですが、京都大学の工学部では、基礎となる学理をしっかり体得することが、将来の幅広い応用につながると考えています。

京都大学最大の学部

京都大学工学部の歴史は、京都帝国大学が創設された明治30（1897）年6月の3か月後、分科大学のひとつとして理工科大学が開校されたことから始まります。以来120年間、工学部はつねに次代を見つめた拡充と整備を続け、京都大学最大の学部に発展しています。

工学の全領域をカバーする6学科

京都大学工学部は大学院重点化にともない、1993年以降、細分化されていた23学科を理工化学科、物理工学科、電気電子工学科、情報学科、地球工学科、建築学科に改組し、6学科が有機的に連携しながら、工学分野のほとんどをカバーする教育・研究体制を整えています。また、大学院工学研究科（主に桂キャンパス）・情報学研究科・エネルギー科学研究科・地球環境学堂（吉田キャンパス）の各研究室が、工学部4年次の特別研究（卒業研究）の場ともなっています。

6学科の紹介

地球工学科

地球の合理的な開発・保全

地球工学は、我々の生活と先端技術を支える資源・エネルギー、持続的に社会を支えるインフラの発展、そして人類が自然と共生するために必要な環境の維持など、諸技術体系とその融合分野で構成されます。多岐にわたる科学技術を総合的に理解する見識を養う教育をめざし、「Think Globally and Act Locally」を理念に掲げ、地球全体の合理的な開発・保全と人類の持続可能な発展を支える高度な研究や実務を遂行できる能力を養っています。国際的技術者の育成に必要な、すべての講義が英語で行われる「国際コース」も設置されています。

幌延深地層研究センター地下施設内での原位置試験

建築学科

ヒューマンな技術を学ぶ

人間の生活環境を構成する建築は、安全で健康にして快適な生活を発展させる基盤であり、多様な技術を総合して創造されます。建築は人間生活のあらゆる面に深く密接にかかわるヒューマンな技術といえます。建築学科では、自然科学だけでなく、人文・社会科学や芸術に深い関心をもつ学生もひとしく歓迎し、その才能を伸ばす教育を行います。卒業後の進路も、建築家、建築技術者、建築行政担当者、大学や企業の研究者、コンサルタント、プランナーなど、実に多様です。

設計演習講評会

物理工学科

新技術の創造人材の養成

21世紀を起点とする次代に向けて、物理工学分野には新たなシステムや材料、エネルギー源の開発などに加え、宇宙空間の利用といった課題解決への期待が寄せられています。こうしたニーズに応える新技術を創造するには、基礎的学問を十二分に修得する必要があるという観点から「物理工学科」では、基礎重視の教育・研究を進めています。さらに機械システム学、材料科学、宇宙基礎工学、原子核工学、エネルギー応用工学の5コースが連携し、高い専門的能力と広い視野を持つ人材を育成します。

クリーンルームでの微細加工実験

電気電子工学科

産業や生活基盤を支える科学技術を

電気電子工学は、現代社会のあらゆる産業や社会インフラに不可欠な科学技術を支えるだけでなく、21世紀を豊かにするための重要な役割を担っています。そのため電気電子工学科では、幅広い領域におよぶ総合的な知識と高い専門性に加え、複眼的な視野や卓越した独創性、倫理観を備えた人材の育成をめざしています。カリキュラムは基礎学習のあと、各自が志望にあわせて専門科目を履修します。こうした4年の学びを通して最先端の科学技術を理解しながら、電気電子工学の発展が担える知識と技術を身につけます。

ロボットを使用した課外学習

情報学科

複雑なシステムの問題を解決

社会の高度情報化にともない、多様な分野に現れる数理モデルの解析や、複雑な情報システムを通じて収集される膨大なビッグデータの分析や活用が必要とされています。そのためにはシステムの機能はもとより、そこに流れる「情報」の本質を究明し、それに基づいて効率的なデザインを行うための思考力が重要になってきます。「情報学科」では、実世界に現れる複雑なシステムの諸問題を数理的アプローチにより解決するとともに、計算機のハードウェア、システム・ソフトウェア、情報システムを設計・活用できる人材となることをめざして学びます。

演習の様子

理工化学科

最先端科学技術の基盤を担う

化学は、さまざまな物質をつくる反応とそのプロセス、物質がもつ機能や物性を対象とする学問です。「理工化学科」は、持続可能な社会を作り出すために、地球規模課題への対応が求められる工業に対して、創造的な基礎技術・先端技術の開発や学際領域の研究を推進しています。化学に関連した広い分野にわたる基礎化学と工学を重視した教育を行い、エネルギーの創出やもの作りのための有効利用、蓄電などカーボンニュートラルを支える化学分野で活躍できる研究者ならびに技術者を育成します。

理工化学科での最先端化学の研究

＼開いてみよう／
学問の扉

机上の学識を
社会に展開する化学工学。
学んだ知見を手に、
社会に献身せよ

工学部／大学院工学研究科
有馬 誉 助教
洛南高等学校 出身

化学工学は、工場などの工業生産の場において、化学材料をいかに効率よく生産・活用できるかを考える学問です。実験室や研究室の机上で生まれた化学材料を社会に役立つ製品として展開するには、経済コストや安全性・環境への配慮など、多角的な視点で検討を重ねなければなりません。そこで、生産現場全体を俯瞰して、その現場にとっての最適な製造プロセスを考え、材料の開発・性能の向上に取り組んでいます。

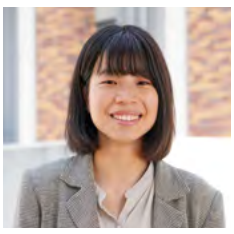
私は、工場プロセスなどで発生したCO_2をいかに効率よく処理できるかに着目しています。CO_2の処理には、CO_2の回収と、回収したCO_2を別の物質に変換するという2つの段階があります。私が取り組むのは前者。材料内部に原子サイズの小さな細孔が多数空いた多孔質材料を研究対象としています。

細孔にCO_2を吸着させ回収する仕組みですが、この材料を研究対象に決めたのは、材料の働きや吸着機構への基礎的な興味からでした。研究を進めるなかで、だれも知らなかったことをはじめて明らかにしたときは、もっとも湧き立つ瞬間ですが、大学進学時に工学部を選んだのは、社会に役立つ研究をしたいという一心から。解明した現象をどのように社会にいかせるのか、この視点は欠かさないように心がけています。

経験を積んで慣れてくると、失敗への対処方法も身について、それなりの成果を出せる自信がついてきます。でも、それでは飛び抜けた成果はなかなか生まれません。そんなとき、新たな扉を開くのは、〈常識〉にとらわれない学生たちの自由な発想です。予想しなかった選択をきっかけに、新しい現象に出会うことがあります。

工学部ならメーカー、経済学部なら銀行など、今の段階で想像できる進路だけが未来ではありません。たとえば、化学工学は、社会のさまざまな事象の最適化に関わる学問であり、組織を俯瞰して経営や運営を考えるときにも応用できることが魅力です。これから入学されるみなさんには、大学で、どういった能力を手にしたいかという視点で学部学科を選んでいってほしいと考えています。

先輩が教える 京都大学の魅力



卒業生
大学院工学研究科
都市環境工学専攻
環境デザイン工学講座
2023年3月 工学部地球工学科
環境工学コース 卒業
米澤 璃穂 さん
富山県 富山県立魚津高等学校 出身

学びを深めながら、
自身の〈生き方〉への考えも深まる

環境工学を中心に幅広く学べる京大を志望し、2025年に工学研究科都市環境工学専攻修了、現在は博士後期課程に在籍中です。学部から大学院まで、最先端の講義に加え、海外研修や企業実習、研究室での留学生との交流を通じて、自身の生き方に対する考えを深められる機会も多く、有意義な6年間でした。将来は得た知識や経験を活かし、行政か民間の立場から脱炭素社会の実現に貢献したいです。京大は、求めれば多種多様なチャンスを得られる場所です。好奇心あふれるみなさんの挑戦を応援しています。

大学院の紹介

大学院工学研究科

来たれ！ 京大「工学」の大学院へ！！

京大工学部の卒業生の多くは、大学院の工学研究科に進学します。研究室の多くは桂キャンパス(P76)にあり、世界最先端の研究設備が揃っています。また、京大工学研究科は高校の教科でいう物理・化学に限定した分野だけでなく、環境にやさしくかつ災害につよい街づくりや建築、情報科学、デザインや医療・生命系との融合的な分野もあり、「工学」というイメージから想像できないほどの広い領域をカバーしています。こうして学部の時よりもさらに奥深く、幅広く学んだ大学院生は、修了後、大学や国内外の研究機関はもちろん、政府機関や国際行政機関、国内外の民間企業へ就職し、社会に大きく羽ばたいています。

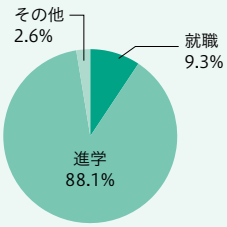
受験生の皆さんにとっては、まずは大学入試の合格が大きな目標ですが、是非その先も見据えて「工学」を志してください。

卒業後の進路

■概要 工学部では例年9割近くの学生が、学科の学びが直結する本学の工学研究科、エネルギー科学研究科、情報学研究科などの大学院(修士課程)に進学します。その後も博士課程に進み、大学等の研究・教育職をめざす者も少なくありませんが、専門分野と密に関連する企業などの求めに応え、研究・開発・技術職に就くという進路も広がっています。

■取得可能な資格 在学中に所定の科目を修得することにより、測量士、建築士、電気主任技術者、無線従事者、危険物取扱者、ボイラー取扱主任者などの資格取得に向けた学科試験の全科目、または一部が免除されます(卒業後一定の実務期間を経ることで受験資格が得られる資格もあります)。

2024年度 卒業生の状況



Faculty of Agriculture

農学部

Faculty of Agriculture

生命・食料・環境

- 資源生物学科
- 応用生命科学科
- 地域環境工学科
- 食料・環境経済学科
- 森林科学科
- 食品生物科学科

農学部が望む学生像

農学部では、21世紀の重要課題である「生命・食料・環境」に関わるさまざまなかつ複合的な問題に、生物学、化学、物理学、社会科学などの多様な基礎知識をベースに、総合的な観点から立ち向かいます。本学部は、それぞれの分野に共通する基礎的科目を系統的に教育するとともに、学科ごとに異なる高度な専門教育を実施することにより、国際的な広い視野と高度な専門知識をもち、高い倫理性と強い責任感をもち、主体的に行動でき、コミュニケーション能力に長けた多様で優れた人材を養成することを目的としています。この観点から、各学科が対象とするさまざまな課題に果敢に挑戦する意欲をもち、応用力と適応力、ならびに、それぞれの専門教育に必要な学力を有する学生を求めています。

農学部の特徴　専門知識の習得と広い視野の育成

1 6学科体制

農学部は、高い倫理性を前提として、農学に関連する知識とそれに基づく能力、すなわち(1)人類が直面する課題への科学的解決法を構想する能力、(2)農林水産業及び食品・生命科学関連産業の発展に寄与する能力、(3)生命・食料・環境に関わる世界水準の研究を理解する能力を身につけた人材を育てることを目的としています。農学部では、6学科を設置し、本学の特徴である自由の学風を尊重しながら、総合的にこれらの目的の達成に取り組んでいます。
人間は、地球上の動植物や微生物などさまざまな生物と共存し、それらを利用しています。生物の持続可能な利用のためには、生命の仕組みや生態系の動態についての広く深い理解が必要不可欠です。また、人間活動と自然の調和のためには、工学的な技術や社会科学からの分析も必要になります。そのため、農学部の学生には、各学科で求められる専門知識の基礎を習得しながら、幅広い視野をもつことが求められます。

2 学びを始める：第1年次

農学部では入学時に学ぶ学科が決まります。各学科のカリキュラムは、全学共通科目と専門科目で構成されています。
第１学年では、幅広い学識を養うことを目的として全学共通科目を中心に履修します。たとえば、自然科学、人文・社会科学、語学などの基礎教養科目に、保健・体育科目や英語で学ぶ科目などを加えて、自分の履修計画をつくります。

3 学びを高める：第2・3年次

第2学年の後期(秋から冬)になると、専門科目の割合が増加します。農学部の専門科目では、講義に加えて実験、実習、演習が重視され、実験・実習の技術・手法に関する密度の高い教育が実施されます。農学部の学生は、学内でも海外への関心が高く、毎年、多くの学生が外国留学に挑戦します。
第3学年は専門科目の履修に専念します。また、研究室(○○分野とよびます)の選択という大切な決定をする時期です。研究室訪問などで情報を収集しながら、将来の方向を考えた専門科目の履修が求められます。

4 学びを結びつなぐ：第4年次

第4学年では、実際に研究室に分属して、課題研究(卒業研究)に取り組み、卒業論文を作成します。課題研究は、教員の指導や助言を受けながら、また、大学院生とも交流しながら、未知の分野の研究に取り組む、研究者としての最初のステップです。そして、所定の単位を修得した学生は、学士(農学)の学位を取得して卒業します。また、多くの学生が、さらに研究を深めるべく、大学院へ進学します。

ココに注目！

先端学問としての農学

農学と聞いても、「農業」というイメージしか浮かばないかもしれません。しかし、今日の農学は「生命・食料・環境」というキーワードで表わされる総合的な学問へと変貌しています。まず、農学は、生命に関する総合科学です。実際に、農学では、微生物(ウィルス、細菌、酵母、カビなど)、植物(穀物、草本植物、樹木など)、動物(昆虫類、魚類、家畜など)などさまざまな生物を取り扱っています。また、バイオテクノロジー、遺伝子組換え、バイオマス、ゲノム編集なども重要なキーワードになっています。

農学部への誘い

2023年に創立100周年を迎えた京大農学部は、現在6学科体制で、今日の農学のほぼ全域で、教育と研究を展開しています。今日の農学は、明日の農学に向けて日々進化しています。みなさん、京大農学部で、明日の農学に向けてチャレンジしてみませんか。

持続的社会の構築へむけて

今日の農学は、分子・細胞・個体レベルから生態系・地域レベルまで広範囲にわたって、人類の健康で文化的生活の持続に大きな使命を果たしています。とくに、地球規模で食料と栄養の確保は深刻な問題です。そのために、農学が果たすべき役割は大きく、農林水産業や食品関連産業の新技術の開発に注力するとともに、農業経済や農業経営などの社会科学的なアプローチも行っています。これについては、農業のハイテク化、農業用ロボット、植物工場、品種改良、食品と健康、植物生産の新技術、フードシステムなど数々のキーワードを挙げることができます。さらに、人類の生活基盤を揺るがす環境問題(陸域や海洋汚染、森林破壊など)は、農林水産業の生産基盤を脅かすだけでなく、農林水産業が原因となることもあります。そのため、環境問題に対する取り組みは二重の意味で農学の重要な使命の一つとなります。

6学科の紹介

資源生物科学科

**資源生物の有効利用に向けて
多面的な研究に取り組む**

「資源生物科学科」は陸地や海洋に生育・生息する資源生物の生産性と品質の向上について、環境との調和をはかりつつ追求するための教育・研究を行っています。あわせて資源生物を対象に、外敵や病気から守る技術の開発、成育・生息に好ましい環境を持続的に保全する方策の探究、有用物質や遺伝子の有効な利用法の考察、これまで生産が見込めなかった劣悪な環境で育つ新品種の創出など、基礎から応用に至る研究を多面的に行っています。

応用生命科学科

**生物資源の生産・加工・利用・保全を
化学的・生物学的に探求する**

「応用生命科学科」は、微生物、植物、動物など生物の生命現象や機能を化学、生物学、生化学、物理学、生理学、分子生物学の立場から深く探求・理解すること（バイオサイエンス）をめざしています。さらにその成果を農・医薬品、食品、化成品をはじめとする生活に有益な物質の高度な生産や利用に応用する（バイオテクノロジー）ための教育と先端的な研究を進めています。

地域環境工学科

**環境と調和した食料生産をはじめ
豊かな21世紀社会の構築をめざす**

「地域環境工学科」は、環境と調和した効率的な食料生産、地球全域をふくむ環境・エネルギー問題の解決、環境共生型農村社会の創造をターゲットに工学的な技術をツールとする教育・研究を行っています。具体的には、水循環の制御による水資源の合理的な利用、農業水利施設の効率的な維持管理と更新、生態系と調和した水・土壌環境の実現、農村計画と住民主体の地域づくり、持続的食料生産に向けてのエネルギーの変換・利用、植物工場、精密農業、農畜水産業のロボット化および生物センシングなどが挙げられ、さまざまな研究をとおして豊かな21世紀社会を構築していきます。

食料・環境経済学科

**人々の生活に関連深い食料問題と
環境問題に関する教育・研究を行う**

「食料・環境経済学科」では、私たちの生活に最も関連の深い食料問題と環境問題に関する教育・研究を行っています。また、これらの問題を国内だけでなく世界的な次元で捉え、途上国の貧困問題、人口問題、技術の開発普及、農林水産物の貿易問題が内包する食品安全性、さらに農山漁村の社会経済生活などに関する研究も進めています。その際、有限な地球環境資源の保全と両立する持続可能な資源循環型社会の在り方に関しても視野・視点を広げ、学際的かつ総合的に取り組んでいるのも「食料・環境経済学科」の特色です。

森林科学科

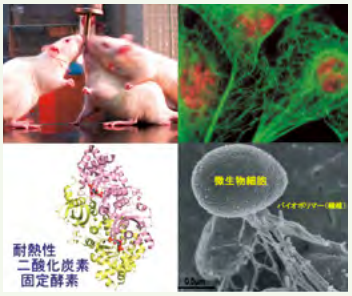
**森林の科学的な教育・研究により
自然保護と豊かな社会の共存をめざす**

森林には樹木をはじめ、多様な動植物や菌類による生態系があり、私たちの生活に欠かせない木材や紙となる木質資源を供給すると同時に、災害防止や気候維持などの環境保全機能も担っています。「森林科学科」では、自然保護と豊かな社会との共存に向けて、森林とそのバイオマス資源を対象とする教育・研究を行っています。生態系、生物多様性、管理と生産、緑地工学、地球環境化学、材料工学、有機化学、分子生物学、細胞生物学、バイオマスエネルギー、社会科学的アプローチなど、多様な教育・研究テーマを用意しています。

食品生物科学科

**生命科学と生物工学の研究を基盤として
食と健康の科学を推進する**

「食品生物科学科」は、生化学、有機化学、物理化学および分子生物学を基盤とする生命科学と生物工学の観点から教育・研究を行っています。〈食〉に関するさまざまな課題に対して科学的な解決法を提示できるように「実験科学」を重視し、①食品と生命の関わりを研究し、食と生命を理解すること、②最先端の生命科学研究により、「食と健康」に貢献すること、③食に関する学問を通して、人類の持続的発展に寄与することを目指しています。そして、教育と研究を通して世界で活躍できる人材の育成を担っています。



\ 開いてみよう /
学問の扉

未知数な食行動のメカニズムを解明し、健康的な食生活に貢献

農学部／
大学院農学研究科
佐々木 努 教授
成蹊高等学校 出身

みなさんは、疲れたときに甘いものが欲しくなるという経験はありませんか。じつはこのとき、脳が体に必要な栄養素を認識し、過去の食事経験に照らして食べたいものを選択する、意識下のメカニズムがはたらいています。こうした食行動は意識にのぼらないからこそ、その全容はまだわかっていません。「生き物」としての体と「食べ物」との相互作用に着目することで、「食べる」という行動の解明に挑んでいます。

糖や脂質の摂りすぎによる生活習慣病が大きな問題となる現代において、食行動をいかに制御するかは重要な課題です。三大栄養素である糖分と脂質、タンパク質は、それぞれ体にとっての役割が異なります。つまり、生体機能を維持するうえで、「糖が足りない」、「脂質が足りない」と個別に摂取量を調節する仕組みがあると考えられます。たとえば私は、糖を摂取することで体内ではFGF21が生成されて脳のオキシトシン神経に作用し、「糖を充分に食べた」と充足感を得るメカニズムを発見しました。別の食品成分でそのメカニズムに働きかけることができれば、糖分の摂り過ぎを抑制でき、肥満症や糖尿病の治療につながります。「なぜ食べたくなるのか」の理解をとおして食品開発や創薬への応用も展開し、健康寿命の延伸という社会課題に取り組んでいます。

京大農学部では、微生物や動植物、資源となる生物や森林などの生態系、食品や環境など、地球上のありとあらゆるものが研究対象になります。教員の専門も多種多様で、私は医学部出身ですし、理学部出身の教員もいます。興味の範囲がひろく、分野に囚われずに新しいことに挑戦したい人には最適の環境です。

いまはまだ漠然とした興味でも心配ありません。高校までに得られる知識は学問のほんの一部。目標を絞りこむよりも、関連することはなんでも勉強してみる貪欲さがたいせつです。既存学問の常識に染まっていないからこそ生まれる柔軟な発想もあります。京大農学部の自由に学べる環境で、自分にしかできない研究に挑戦してください。

先輩が教える **京都大学の魅力**

卒業生
京都府職員
2022年3月 大学院農学研究科
地域環境科学専攻（修士）
水環境工学分野 修了
松村 寛子 さん
京都府 京都市立堀川高等学校 出身

〈農業〉を深く追究し、丁々発止の議論に明け暮れた大学時代

「工学の視点から農業を支える」という考え方は、高校生のときには想像したこともなく、新しい学びとの出会いでした。学生の頃は学科を横断して農業を深く勉強し、教室や研究室でやいのやいのと議論していました。現在は農家さんが抱える様々な課題の解決を支援する仕事をしていて、農地・水利施設の整備や農業機械の導入が農家さんの負担を軽減する効果を実感しています。苦しい受験勉強を乗り越えた先にある好奇心と学びは、きっと、社会で生きる糧になります。

大学院の紹介

天然由来分子精密構造解析システム
（北部キャンパス機器分析拠点設備）

大学院農学研究科

「生命・食料・環境」を究める

農学研究科は、農学、森林科学、応用生命科学、応用生物科学、地域環境科学、生物資源経済学、食品生物科学の7つの専攻、および附属教育研究施設（農場・牧場）から成り、自然科学、人文科学、社会科学の総合的な学問体系の観点から「生命・食料・環境」をキーワードに教員と学生が一体となり研究を進めています。女子学生・留学生が多数在籍し、ダイバーシティを受容する環境が整備されています。具体的な研究については、陸・海・空の生物圏および微生物から植物・動物に至る幅広い生物を研究対象として、最先端の機器等を用いて、「生命」の基本原理を明らかにし、良質な食料の安定的な生産や気候変動対策・再生可能エネルギーの導入等の「食料」・「環境」にかかる課題の解決に取り組み、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献しています。

卒業後の進路

■概要　農学部では例年8割前後の学生が大学院に進学します。また、就職先は官公庁、公的研究機関、化学・食品等の製造業、バイオテクノロジー関連産業などはもちろん、商社や金融・保険業からコンピュータ関連まで、年々幅広くなっており、多くの卒業生が公務員や研究・開発職、あるいは総合職として、各界で活躍しています。

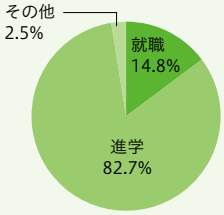
■就職先の例　富士通㈱／任天堂㈱／伊藤忠商事㈱／住友商事㈱／㈱キーエンス／鹿島建設㈱／トヨタホーム㈱／㈱三菱UFJ銀行／㈱日本政策金融公庫／双日㈱／アクセンチュア㈱／大和証券㈱／ライオン㈱／オリックス㈱／㈱ニトリ／㈱SHIFT／三井住友海上火災保険㈱／西日本旅客鉄道㈱／京都大学／総務省／経済産業省／林野庁／国土交通省　など

■取得可能な資格　農学部では教育職員免許状の取得を目的とした教職課程のほか、食品衛生管理者・食品衛生監視員、測量士補、樹木医補といった資格の取得・認定に向けた教育課程を設けています。

■取得可能な教育職員免許の種類と教科
森林科学科……中学校一種「理科」、
高等学校一種「理科」※1
食料・環境経済学科……高等学校一種「農業」※2

※1 森林科学科以外の学科に入学した学生も、森林科学科における所要資格を満たせば取得可能です。
※2 食料・環境経済学科以外の学科に入学した学生も、食料・環境経済学科における所要資格を満たせば取得可能です。

2024年度 卒業生の状況



大学院の紹介 独立研究科・専門職大学院

学部時代に身につけた知識や技能をさらに深化・高度化し、次代を担う研究者、実務者をめざして学びます

京都大学の卒業生たちは、「自由の学風」によって培われた知性、感性、倫理性をいかし、社会に貢献することが期待されています。
学部卒業後の進路選択として、就職や大学院への進学などが考えられますが、
大学院を充実させた「研究型大学」の京都大学では、大学院への進学率が高い傾向にあります。
年度によって異なりますが、例年は約55～60パーセントの卒業生が大学院に進学しています。

https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/faculties-and-graduate/

学部を卒業後、学部で身につけた知識・教養・技能を深めることをめざす学生は、大学院進学を選びます。大学院の標準修業年限は、「博士前期課程（修士課程）」の2年間、つづく「博士後期課程（博士課程）」の3年間（課程区分を設けない一貫制博士課程は5年間）です。この間に定められた単位を修得し、必要な研究指導を受け、研究論文の審査と最終試験に合格すれば、「修士」もしくは「博士」の学位が授与されます。
また、「飛び級制度」を認めている大学院では、学部時代に指定の単位を優れた成績で取得した者（学部在籍3年以上）に入学を認めるとともに、標準修業年数に満たなくても、学位を授与する場合があります。
大学院の選択にあたっては、学部と関連した大学院に進学することが多いのですが、異なる分野の大学院を選ぶことも可能です。一般的に大学院には多種多様なバックグラウンドをもつ学生が多く集まる傾向にあります。

学部をもつ大学院

京都大学の10の学部は、それぞれが大学院につながっています※。学士課程（学部）の教育と連続し、高度な研究と教育を推進しています。学部をもつ大学院についての情報は、14ページから57ページの各学部紹介内に掲載しています。

独立研究科

京都大学には学部をもたない大学院課程、「独立研究科」が6つあります。いずれの研究科も多様な学部の卒業生を受け入れ、複合的学域の創出・深化に携わる研究者や実務家の養成を主眼にした大学院教育を展開しています。

専門職大学院

高度で専門的な職業能力をもつ実務家を養成する大学院です。現場で活躍するスペシャリストなどを専任教員として迎えるなど、複雑な問題を解決するための知識・技能の獲得をめざした教育を推進します。京都大学では、4つの専門職大学院を設置しています。

※大学院重点化が行われた現在は、正確には、大学院が主たる組織であり、大学院が学部教育を提供します。

独立研究科

エネルギー科学研究科

理工系に人文社会系の視点を取り込みつつエネルギー問題解決のための新学際領域を確立

エネルギー科学研究科は、エネルギー・環境に関連する様々な課題を克服するために、工学、理学、農学、経済学、法学などの多岐にわたる学問領域を結集して、「理工系に人文社会系の視点を取り込みつつ、学際領域としてエネルギー科学の学理の確立をはかり、地球社会の調和ある共存に寄与する国際的視野と高度な専門能力をもつ人材を育成する」という理念を掲げ、平成8年に創設されました。以来、CO_2ゼロエミッションを目指した取り組みを進めるとともに、カーボンニュートラル社会に適応するエネルギーシステムの構築に向けて、それを支える基盤技術開発研究から、その導入を図るための経済や政策、教育といった社会的側面からの研究に至るまで、国際的な視野に立った最先端の研究を行いつつ、将来この分野で中心的な役割を演ずる人材の育成に努めています。

本研究科は、エネルギー社会・環境科学、エネルギー基礎科学、エネルギー変換科学、エネルギー応用科学の4つの専攻から成り、エネルギー理工学研究所、複合原子力科学研究所、人間・環境学研究科の協力のもとに、基幹講座22分野、協力講座17分野で構成されています。さらに、国際化推進を支援する組織として、国際先端エネルギー科学研究教育センターを設置しています。また、英語のみで修士・博士の学位が取得できる国際エネルギー科学コースや、海外の大学と提携し二つの学位を同時に取得できるダブル・ディグリー制度を設けるなど、研究のみならず教育においても国際化を推進しています。

エネルギー科学研究科棟と上に設置されたソーラーパネル

専攻 エネルギー社会・環境科学専攻／エネルギー基礎科学専攻／エネルギー変換科学専攻／エネルギー応用科学専攻
対応する主な出身学部（一例） 総合人間学部／経済学部／理学部／工学部／農学部

アジア・アフリカ地域研究研究科

アジア・アフリカ地域を総合的に理解できる専門家を目指す皆さんへ

現在、世界では環境問題や南北問題など、人類が総力をあげて解決に当たらなければならない多くの問題が出現する一方で、世界各地で新たな民族主義や地域主義、自国優先主義が台頭しつつあります。それらが民族紛争、近代化と伝統文化との矛盾の激化としてあらわれているにもかかわらず、世界はいまだ地域と世界の共存のパラダイムを見いだしていません。

こういった諸問題は第三世界、なかでもアジア・アフリカ地域に顕著です。この地域は、低緯度熱帯地域で自生的な地域形成を遂げてきた歴史をもちますが、現在大きな転換点にさしかかっています。アジア・アフリカ地域の動向は、21世紀の世界秩序を左右する影響力を秘めているのです。

このような状況のなかで、私たちは地球社会の構成員としての役割を果たすために、真に持続可能な地球社会の発展の方向性を打ち出し、アジア・アフリカ地域の自立と共存を可能にする新たな世界秩序の構築に向けて、社会的、学術的に貢献していかねばなりません。そのためには、既存の学問分野の枠組を超えた学際的・総合的な地域研究の推進が必要です。

このような社会的、学術的な要請に応えるために、本研究科では5年一貫制の博士課程のもとで、長期にわたるフィールドワークを根幹の方法とし、アジア・アフリカ地域の生態・社会・文化の相互関係を総合的に把握しうる地域研究・教育を推進します。同時に、国際協力などの仕事に実務的に対応できる人材の養成をも射程に入れており、必要に応じて修士学位を授与する制度を併用しています。

専攻 東南アジア地域研究専攻／アフリカ地域研究専攻／グローバル地域研究専攻

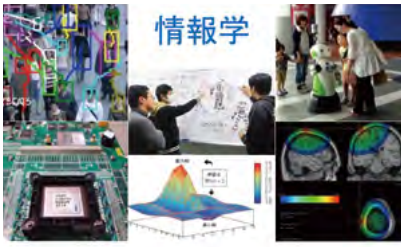
対応する主な出身学部（一例） 総合人間学部／文学部／教育学部／法学部／理学部／医学部／農学部など

情報学研究科

AI、ICT、ビッグデータ、データサイエンス、数理

現在と約20年前を比較して、社会や生活における最も大きな違いは何でしょうか。おそらく、ほとんどの人がスマホとSNSを（かなりの時間）使用していることではないでしょうか。このように高度情報社会が予想を上回るペースで実現されました。情報は、産業や科学においても大きな変化を引き起こしています。現在、第4次産業革命が進行しているといわれています。様々な自然・社会現象やモノの生産・流通過程がデータ化され、人々の検索・購買・移動などの行動データとともに大規模に蓄積され、AIによる最適化が行われています。また、科学における第4のパラダイムとして、データを集積してモデルを構築する方法論が、医学・薬学・工学・農学などの自然科学だけでなく、経済学や言語学などの人文・社会科学を含む様々な分野に適用されています。このように、情報は今や産業や科学の基盤となりつつあります。

このような情報の学際的な広がりを視野に入れて、情報学研究科は1998年に設置されました。AIやICTなどの基盤技術はもちろん、数理・データサイエンスなどの理論、社会や産業における実装など、広範な領域をカバーしています。大学院修士課程では毎年約240名もの学生を受け入れています。実際に、様々なバックグラウンド（出身学部・大学・国）の方が集まって、未来の情報社会を描きながら、熱心に学業や研究に取り組んでいます。そして修了後は、データサイエンティスト・AI人材・高度ICT人材などとして、情報通信分野に限らず様々な分野の企業や研究機関などで活躍しています。



コース 知能情報学／社会情報学／先端数理科学／数理工学／システム科学／通信情報システム／データ科学

対応する主な出身学部（一例） 総合人間学部／文学部／経済学部／理学部／工学部／農学部など

生命科学研究科

生命科学研究の知によって豊かな未来を拓く

1999年に日本初の「生命科学研究科」に集まったのは、理学・農学・医学・薬学・工学など異なる背景をもつ研究者達でした。「生命とは何か」の共通命題のもと、様々な生命現象を対象に、モデル生物や非モデル生物を用いて遺伝子・細胞レベルで研究を行ってきました。これまでに、染色体分配、細胞内シグナル伝達、染色体末端テロメア、植物における有性生殖、また、がん細胞の増殖制御などのテーマにおいて優れた成果を発信してきました。それまでの統合生命科学専攻と高次生命科学専攻に加え、2018年には放射線生物研究センターと生命動態研究センターを、2020年には産学共同講座を設置し、教育研究拠点の拡充と研究成果の社会実装を促進してきました。さらに、2023年にはゲノム情報や細胞内可視化情報などビッグデータを利用した生命情報ネットワークや、細胞外の栄養や物理環境の変動に応じた生命の生存戦略の理解に取り組むべく、生命動態研究センターを発展的に改組し、生命情報解析教育センター（CeLiSIS）を設立しました。英語で提供される科目のみで修了必要単位の修得も可能であり、海外派遣の補助や留学中の単位認定プログラム、海外大学との同時配信講義など、世界レベルの先端的教育研究を推進しています。

第14回京都大学優秀女性研究者奨励賞（学生部門）を受賞

専攻 統合生命科学専攻／高次生命科学専攻

対応する主な出身学部（一例） 総合人間学部／理学部／医学部／薬学部／工学部／農学部

総合生存学館（思修館）

分野横断・俯瞰的視野で地球規模課題を解決する創造的人材の育成

私たちが生きる地球社会は、多様でグローバルな複合的・構造的な課題に直面しており、解決のためには持続可能で創発力のある社会システムが不可欠です。そして、この新たな社会システム構築に向けてリーダーシップを発揮できる人材、ゼロから1を生み出し、実践・持続させていける力を持つ人材の育成が、今、求められています。総合生存学館は、こうした複合的社会課題を克服するための思想・政策や方法を幅広く探求する学問である「総合生存学」を構築し、これを修め社会の要請に応える未来のリーダーを育成する目的で設立された大学院です。

人類社会の生存と未来開拓を担う各界の世界的リーダーには、多様な価値観、広い世界観と見識、確かな哲学と高い志、それらに基づく柔軟な思考が求められます。総合生存学館では、こうした素養を養うために、専門的知識に加え、総合知の観点から文理融合能力及び俯瞰力を培い、複合的社会課題の解決方法を研究し実践する能力を育成します。

実践的観点を重視するため、机上ではなくその問題が起きている現場に即して課題解決情報を創出し、的確に判断・行動できる高度な専門的能力を身につけた人材の育成をめざします。そのため、文理にわたる幅広い専門的学識を積み重ねることで、多様な専門分野を俯瞰する力を培います。さらに、サービスラーニングや海外武者修行などの国内外の社会実践で得られた経験知をモデル化して修得し、人類や社会システム、地球社会における今日的な問題の本質を理解して解決するグローバルリーダーとなる人材を育成します。

専攻 総合生存学専攻

対応する主な出身学部（一例） 全学部

地球環境学舎

工学・農学・社会学等学際的な研究と学びによる、地球・地域環境問題への解決に向けて

地球環境問題は、人類が「豊かさ」と「利便性」を追求し、大量生産、大量消費、大量廃棄社会を生み出した結果、地球気候変動、オゾン層破壊、水質汚染、土壌・地下水汚染、廃棄物問題等、20世紀社会が解決できずに21世紀に受け継いだ人類的課題です。地球環境学舎は、「環境の世紀」と呼ばれる21世紀の始まりにふさわしい大学院として発足し、2022年で20周年を迎えました。「持続的な地球環境とそれを支えうる人間社会の構築を導く新たな文明理念と科学技術知を追求する学を構築し、そのような地球環境を現実のものとする人材育成を目的とする。」という基本理念を実現するため、発足以来、学際的な研究と学びの下、国内外での長期インターンシップやフィールド実習などによる課題抽出・解決型プログラムを中心とした分野横断的なカリキュラム、先端性、社会性を持った安定的研究指導により、環境関連の実務者、研究者としての能力を涵養してきました。

地球環境学の性格上、国際的対応能力を持った人材の養成を重視しており、外国人留学生も多く、修了時には日本人学生のほとんどが本大学院での学修により国際性が身についたと回答していて、本大学院の取組は一定の成果をあげていると考えています。

責任感と倫理性を兼ね備えた多くの人材を輩出し、その多くは国内外の大学や研究機関、公務員や多くの民間企業、NPOで活躍しています。

地球環境学舎で共に学び、世界をリードする人材として活躍を目指される皆さんの入学をお待ちしています。

専攻 地球環境学専攻／環境マネジメント専攻

対応する主な出身学部（一例） 総合人間学部／文学部／法学部／経済学部／理学部／工学部／農学部

専門職大学院

医学研究科 社会健康医学系専攻

医学と社会をつなぐ知の拠点―Public Healthの世界へようこそ

超少子・超高齢社会、格差拡大、環境問題、災害、パンデミック等の健康危機事象と、パブリックヘルス（公衆衛生、社会医学）の社会におけるニーズは、今後さらに大きくなっていきます。しかもコロナ禍を経て、パブリックヘルスの重要性が再認識され、時代変革へ向けて従来のパラダイムをリセットし、新たなプロセスや社会を作っていく気運が高まってきています。

社会健康医学系専攻（いわゆる、京大SPH）は、日本初の公衆衛生大学院として2000年に開設され、多くのMPH（Master of Public Health）、博士（社会健康医学）［Ph.D.］、博士（医学）［Ph.D.］を輩出し研究や実践で大きな成果を挙げパブリックヘルスをリードしてきています。

京大SPHは、世界を舞台に、自由とフロンティア精神をもって、個々人がその意思と特性を礎に、自らの力を伸ばし存分に力を発揮できるよう、学びあい高めあう絶好の場となっています。貴重な人的ネットワークが育まれ、将来に展開していきます。

パブリックヘルスは、必ずや、社会的ニーズが益々拡大し重要化していく領域です。健康危機管理も強化していきます。皆様には、京大SPHのポテンシャルを再認識してこの貴重な場を活用し、益々の飛躍を遂げていただきたいと思います。

京大SPH
医学と社会をつなぐ
知の拠点
京都大学大学院医学研究科
社会健康医学系専攻
School of Public Health

対応する主な出身学部（一例） 医歯薬、理工系、人文・社会科学系等あらゆる分野の人材が求められています。

法学研究科 法曹養成専攻(法科大学院)

自由で公正な社会の実現を担う創造力のある法曹の養成を目指して

法科大学院(大学院法学研究科法曹養成専攻)は、自由で公正な社会の実現のため、様々な分野で指導的な役割を果たす創造力ある法曹を養成することを目的として、平成16(2004)年4月に開設されました。本法科大学院では、この目標を実現するため、優れた研究者教員と練達の実務家教員が学生の教育に全力で取り組んでいます。法学未修者向けの基本的な法律学の授業を始めとして、教員と学生の双方向の問答により理解を深める授業、法や社会の基礎理論や最先端の課題に取り組む授業等、学生のニーズに応えるカリキュラムを用意しています。これらを通じて、法曹として未知の問題に遭遇したときに、適切な解決を自ら導く力、すなわち「自ら考える力」を養成しているのです。

こうした教育を受けて修了した皆さんは、法曹界においても、法曹のサービスを受ける社会の各方面からも、高い評価を受けています。

入学者選抜については、法学部からはもちろん、他学部で法学以外の学問分野を専攻された方や社会人経験のある方も広く受け入れるという方針を立てています。法学未修者を対象とする指導・支援体制も充実しており、勉強方法や進路の相談に応じる担任教員がいるほか、基本的な法文書作成演習、大学院博士後期課程の学生(法科大学院を修了した後、将来大学教員になるために研究をしている人たち)による学習サポート等があります。

法学未修者・既修者を問わず、ぜひ多くの方々に本法科大学院を志願していただき、「自ら考える力」をもつ優れた法曹への道を歩んでいただければと願っています。

対応する主な出身学部(一例) 全学部

公共政策教育部(公共政策大学院)

的確な判断力、柔軟な思考力、高い倫理観に基づき、公共部門の課題に取り組む

公共政策大学院は、高度な教養と専門性を兼ね備えた職業人の育成を目指して、2006年4月に開設された専門職大学院です。1学年の定員は40人と小規模ですが、修了生の多くが国家公務員やマスメディアなど公共性の高い仕事に就いています。

多様な科目が開講されていることは、本大学院の大きな特徴です。社会を分析し考察する上での基礎となる科目、具体例に則した実践的な知識を提供する科目、幅広い視野と教養につながる原理的・歴史的知識を涵養する科目、英語によるコミュニケーション能力の開発に資する科目などが、本大学院に所属する教員に加えて、法学研究科・経済学研究科に所属し学界をリードする教員や、行政官やジャーナリストなどの実務経験に富む教員により、ほぼすべて少人数科目として開講されています。

カリキュラムは、これらの科目を段階的に学べるよう構成されています。まず、1年次の学生は基礎的・原理的な科目を中心に履修します。その後2年次に進級する際に、自らの関心や志望進路に従い「政策(政策分析・評価)」「行政(行政組織間交渉)」「地球(地球共生)」という3つのクラスター(科目群)を選択し、主にそのクラスターに属する専門性の高い科目を体系的に履修しつつ、事例研究やインターンシップを通じて実務能力を磨きます。

また、学生の自主的な活動を尊重する雰囲気が強く、それを支える仕組みが整っていることも、本大学院の個性を作り出しています。

コース 公共政策専攻

対応する主な出身学部(一例) 総合人間学部／教育学部／法学部／経済学部

経営管理教育部(経営管理大学院)

ビジネスを主体的に実践する能力を養成

「MBA」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。Master of Business Administrationの略で、日本語では経営学修士(専門職)と呼んでいます。「経営学」や「マネジメント」など、ビジネスに関連する分野において、高度に専門的な内容を学ぶことで授与される、他の大学院の修士に相当する学位です。

京都大学経営管理大学院は、このMBAを取得できる専門職大学院として、2006年4月に開設されました。京都大学における「ビジネススクール」だと考えていただければと思います。

本大学院は、京都大学の自由の学風のもと、幅広い専門分野の教員によって、グローバルに活躍することのできるビジネスリーダーやプロジェクトマネージャーを育成していきます。

MBA／専門職学位課程には、日本語プログラムと、英語のみで修了できる英語プログラムを用意しています。英語プログラムの中には、京都大学と米国の大学で1年間ずつ学ぶことのできる京都大学―コーネル大学国際連携コースも含まれています。

また、本大学院にはPh.D.／博士後期課程も設置しています。ここでは、企業などで高度な経験を積み、その経験を通して経営に関する問題意識を持った人を受け入れ、実務に根ざした研究を推進しています。

様々な意味で価値観が大きく変動している今日、本大学院の提供する内容を学んだ人材の必要性は、ますます高まっているといえます。本大学院は、人種、性別、国籍にかかわらず、高い志をもった人々が切磋琢磨し、社会に貢献できる人材として成長する場を提供していきます。

専攻 経営管理専攻(専門職学位課程)／経営科学専攻(博士後期課程)

対応する主な出身学部(一例) 経済学部／工学部